

平成 26 年度 江田島市市民満足度調査について

平成 26 年 10 月 16 日 (木)

江田島市企画部企画振興課

目 次

第 1	アンケート調査の実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査の実施方法	1
4	調査日程	1
5	アンケート回収状況	1
6	集計結果の表記	1
第 2	回答者の属性	2
1	性別	2
2	年齢階層	2
3	居住地	3
4	居住年数	3
5	職業等	4
6	世帯の人数（同居家族）	4
7	65 歳以上人員（同居家族）	5
8	乳児～小学生人員（同居家族）	5
第 3	江田島市や地域・地区の現状，市の取組について	6
1	今後の重要度と現状の満足度	6
2	江田島市や地域・地区の現状，市の取組の評価	10
第 4	自由意見	27

第1 アンケート調査の実施概要

1 調査の目的

第2次江田島市総合計画の基本構想では、「『恵み多き島』えたじま」を10年後の目指す姿とし、それを実現するために、「市民満足度の高いまちづくり」と「未来を切り開くまちづくり」を掲げています。

本アンケート調査では、この戦略にもとづく江田島市の取組（事務事業）が、実際にどのような効果があるかなどを、市民の皆さまの目線で検証し、より実効性のある取組としていくため、毎年度、市民満足度調査を実施し、幅広く市民の意向などを把握することを目的とします。

2 調査対象

16歳以上の江田島市民のうちから、2,000人（無作為抽出）

3 調査の実施方法

前記対象者への無記名アンケート調査方式
郵送による、調査票の配布・回収

4 調査日程

郵送配布：平成26年5月19日（金）
回収締切：平成26年6月10日（火）
※（平成26年7月10日（木）分まで受付）

5 アンケート回収状況

回収数：718票
回収率：35.9%

表 旧町別回収数及び回収率

区分	配布数（票）	回収数（票）	回収率（%）	参考：H25調査回収率（%）
江田島町	720	284	39.4	36.7
能美町	590	158	26.8	25.7
沖美町	260	79	30.4	31.5
大柿町	430	192	44.7	44.5
不明	—	5	—	—
合計	2,000票	718票	35.9	34.7

6 集計結果の表記

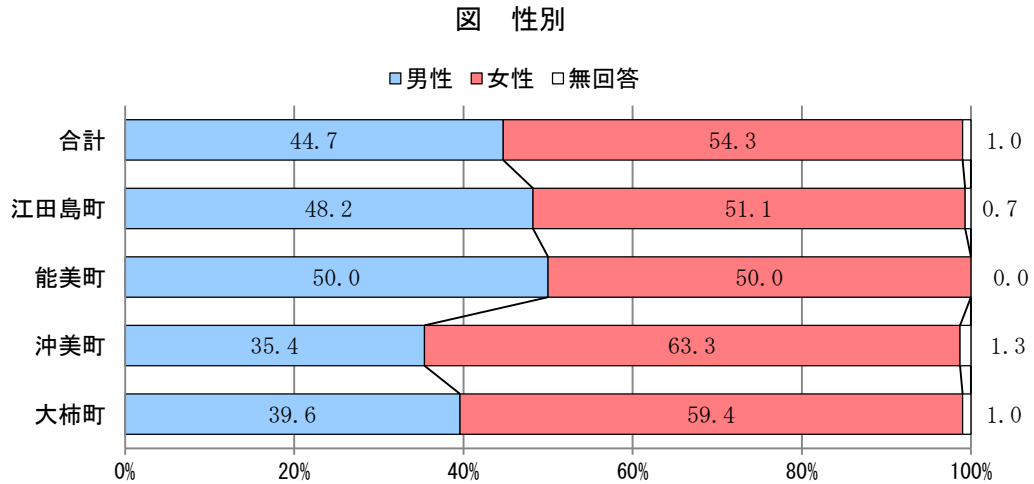
各回答の割合（%）は、少数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、端数処理の関係から、各回答の割合（%）の合計が100%にならない場合があります。

第2 回答者の属性

1 性別

回答者の性別は、女性が54.3%を占め、男性よりも9.6%多くなっています。

居住地別にみると、能美町で男女同数、江田島町及び沖美町、大柿町では女性が多くなっています。



2 年齢階層

回答者の年齢階層は、「70歳以上」が32.7%で最も多く、次いで「60歳代」が25.2%、「50歳代」が13.0%となっており、60歳以上が全体の57.9%を占めています。

居住地別にみると、ほぼ全体と同様の傾向にありますが、能美町では「40歳代」が、大柿町では「70歳代」がやや多くなっています。

平成22年国勢調査の16歳以上人口に占める60歳以上の割合は50.5%となっており、今回のアンケート調査では60歳以上の回答者がやや多くなっています。

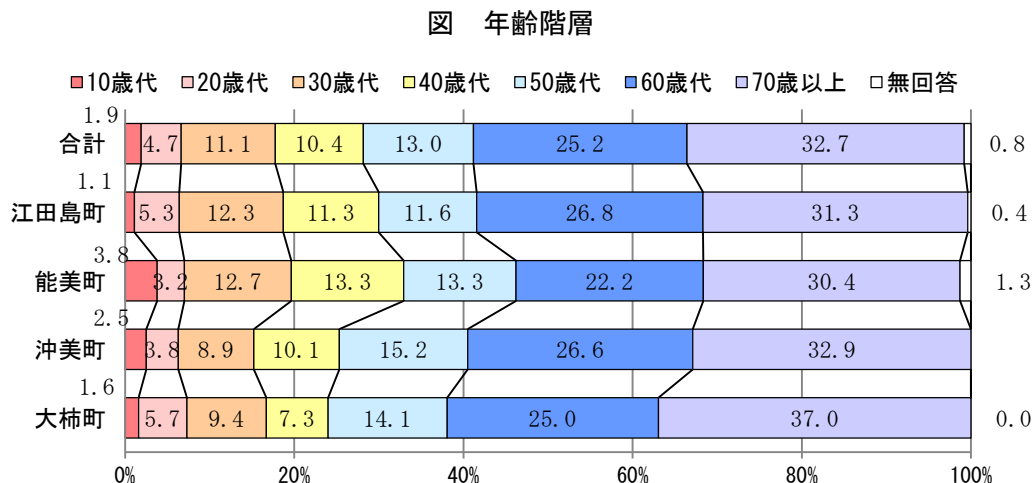


表 参考：江田島市の年齢構成（16歳以上人口）－平成22年国勢調査－

上段：人 下段：%

区分	総人口	16歳以上人口	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全市	27,031	24,361	700	2,343	2,903	2,633	3,480	4,941	7,361
	—	100.0	2.9	9.6	11.9	10.8	14.3	20.3	30.2

3 居住地

回答者の居住地を町別で見ると、「江田島町」が39.6%で最も多く、次いで「大柿町」26.7%、「能美町」22.0%、「沖美町」11.0%となっています。

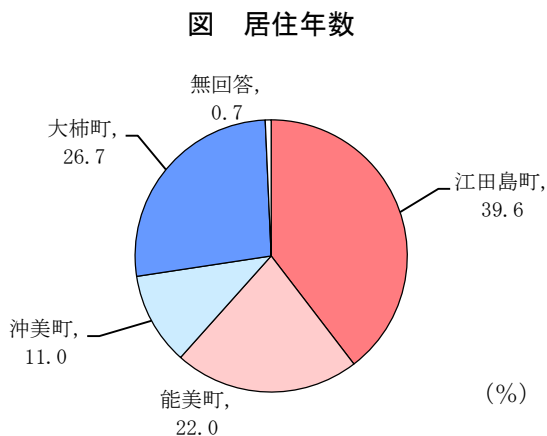


表 居住地

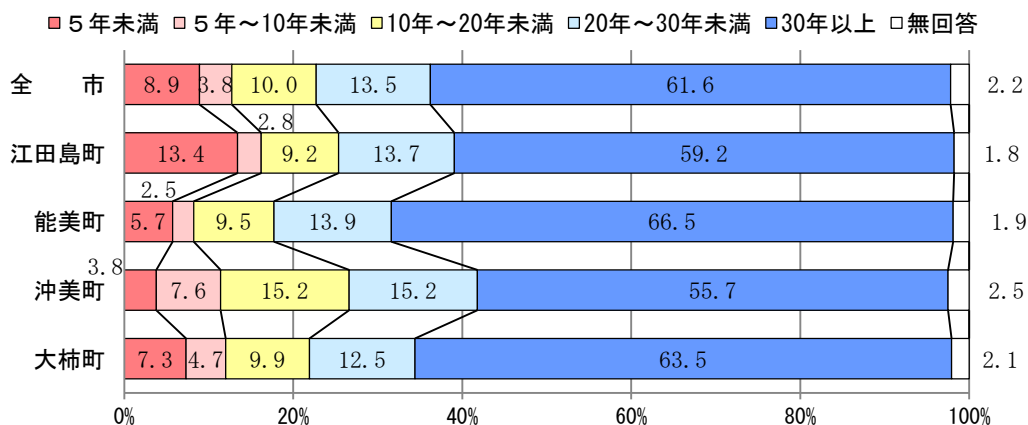
町名・地区別		回答者数 (人)	構成比 (%)
江田島町	中央	81	11.3
	鷺部	34	4.7
	江南	19	2.6
	秋月	21	2.9
	小用	46	6.4
	切串	44	6.1
	幸ノ浦, 大須	3	0.4
	津久茂	8	1.1
宮ノ原	28	3.9	
小計		284	39.6
能美町	高田	31	4.3
	中町	69	9.6
	鹿川	58	8.1
小計		158	22.0
沖美町	三吉	29	4.0
	高祖	5	0.7
	美能	13	1.8
	岡大王	8	1.1
	畑	9	1.3
	是長	15	2.1
小計		79	11.0
大柿町	深江	22	3.1
	小古江	12	1.7
	大原	60	8.4
	大君	24	3.3
	柿浦	35	4.9
	飛渡瀬	39	5.4
小計		192	26.7
不明		5	0.7
合計		718	100.0

4 居住年数

回答者の江田島市での居住年数は、「30年以上」が61.6%と半数を超えていますが、これは回答者の年齢構成との関係が強いといえます。

居住地別にみても、おおむね全市と同様の傾向にありますが、江田島町では「5年未満」が13.4%と他の地区に比べて多くなっています。

図 居住年数

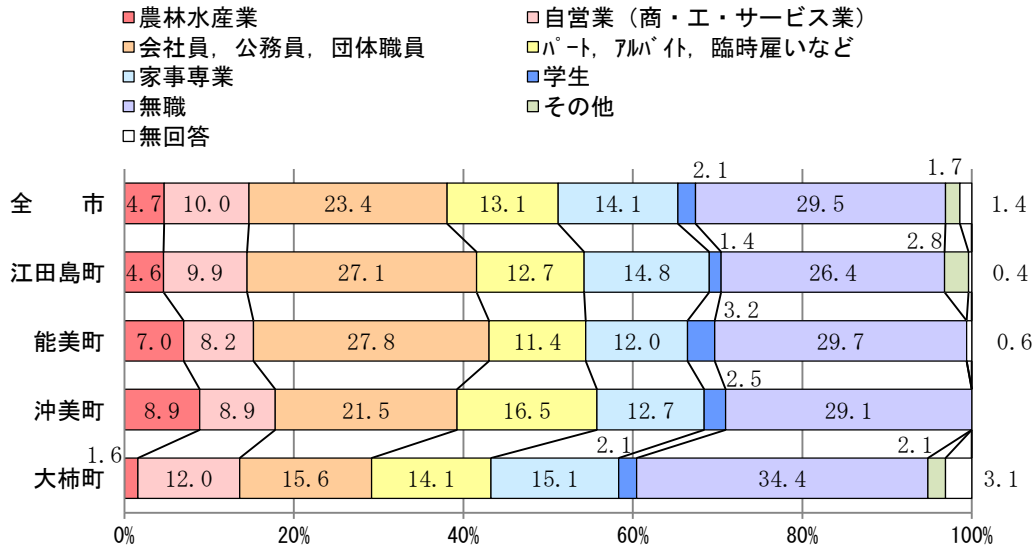


5 職業等

回答者の職業等は、「無職」が29.5%で最も多く、次いで「会社員、公務員、団体職員」が23.4%、「家事専業」が14.1%などとなっています。

地区別にみても、概ね全市と同様の傾向にありますが、沖美町では「農林水産業」，「パート、アルバイト、臨時雇いなど」が，大柿町では「無職」が他の地区に比べて高くなっています。

図 職業等

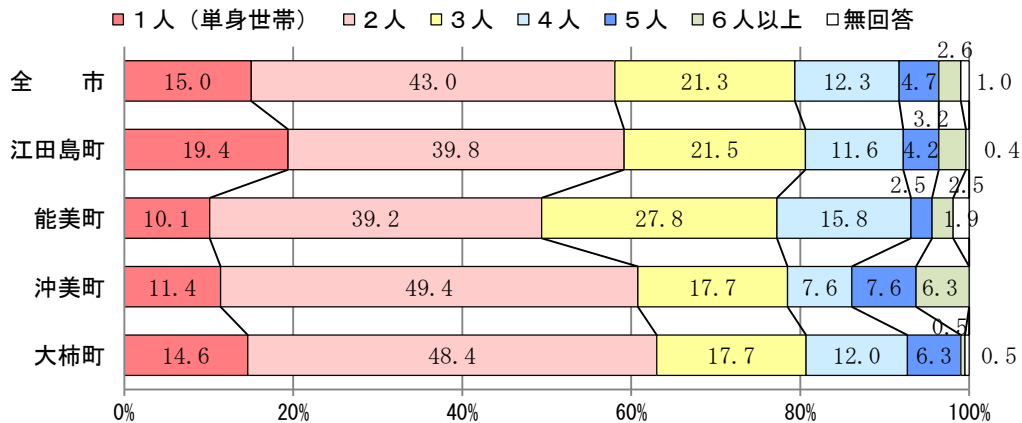


6 世帯の人数（同居家族）

回答者の家族構成は、「2人」が43.0%で最も多く、次いで「3人」が21.3%、「1人（単身世帯）」が15.0%などとなっています。

地区別にみても、概ね全市と同様の傾向にありますが、江田島町で「1人（単身世帯）」が19.4%、能美町で「3人」が27.8%と他の地区に比べて高くなっています。

図 世帯の人数

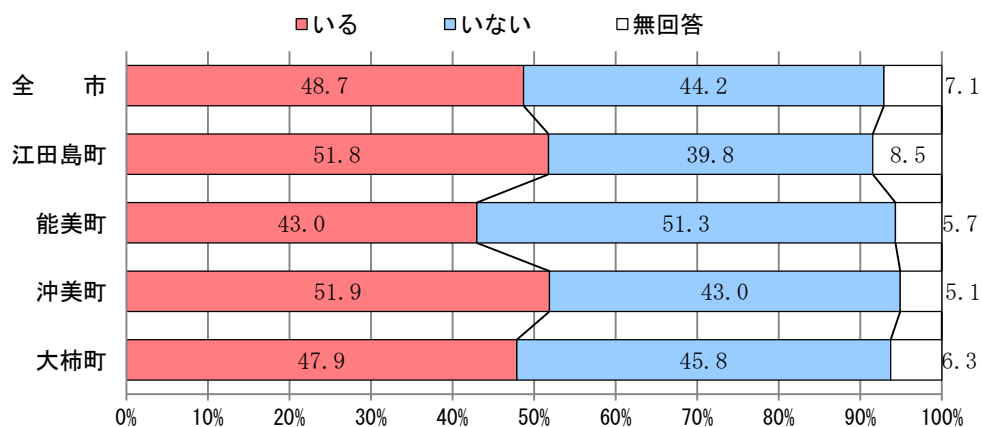


7 65歳以上人員（同居家族）

同居している家族に65歳以上の方がいるかについては、「いる」が48.7%となっており、「いない」に比べて4.5%多くなっています。

地区別にみると、江田島町及び沖美町で「いる」が、能美町で「いない」が5割を超えています。

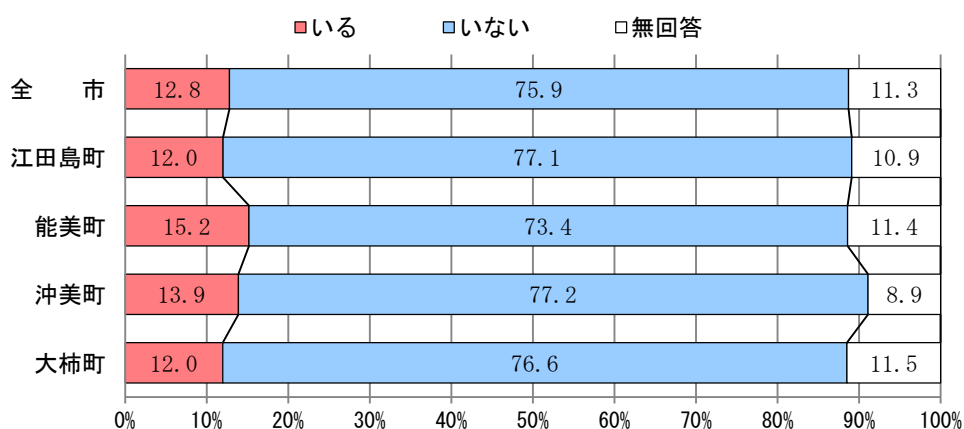
図 65歳以上人員（同居家族）の有無



8 乳児～小学生人員（同居家族）

同居している家族に乳児～小学生の方がいるかについては、「いる」が12.8%となっており、地区別にも同様の傾向となっています。

図 乳児～小学生人員（同居家族）の有無



第3 江田島市や地域・地区の現状、市の取組について

1 今後の重要度と現状の満足度

問2 あなたは、江田島市などが行っている主要な取組それぞれについて、今後の取組における重要度（重点度）と、現在の状況に対する満足度を、どのように思われますか。（○印はそれぞれ1つ）

江田島市や地域・地区の現状、市の取組の今後の重要度について、各項目（設問）を一覧（7頁）すると、重要度（「特に重要」または「重要」と答えた割合）が高いのは、教育・文化の「学校教育の内容（小中学校）」が85.3%、「学校と地域・家庭との信頼関係」が82.4%、福祉・保健の「医療機関の充実」が80.7%と80%を超えて高くなっています。

この他、福祉・保健の「高齢者福祉サービスの充実」、「介護サービスの充実」、「高齢者福祉・介護施設の整備」、安全・安心の「大規模災害等に備えた危機管理体制の構築」、「救急体制の充実・強化」や基盤の「海上交通の確保・充実」で重要度が70%を超えています。

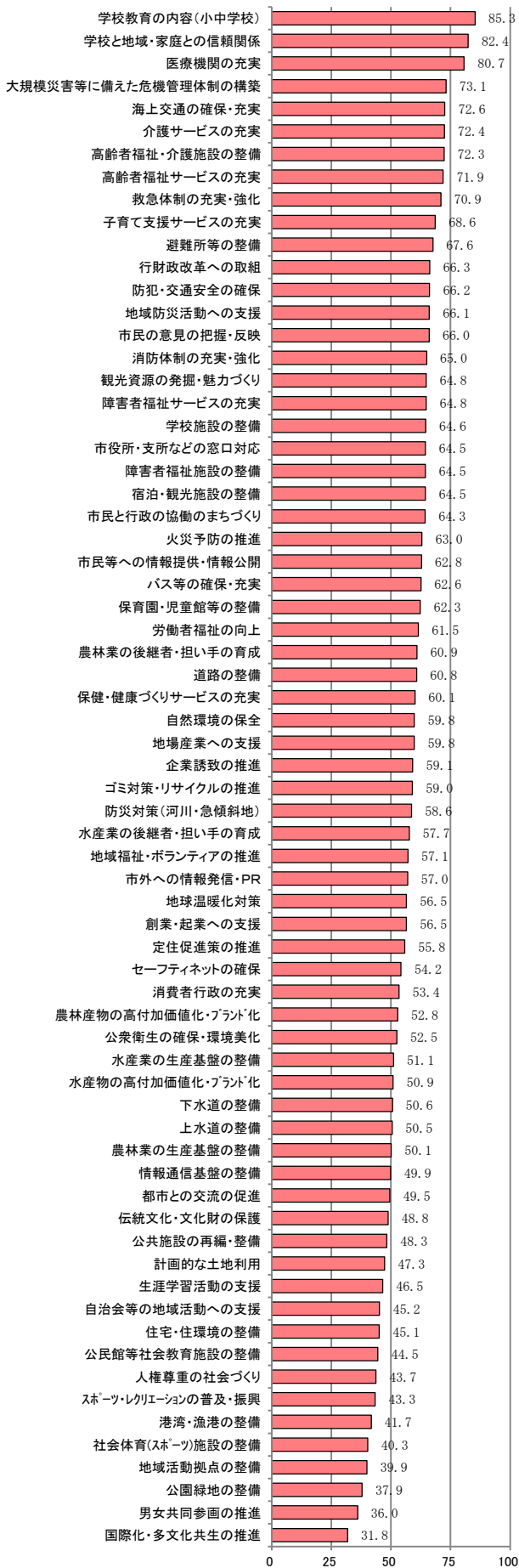
一方、重要度が低いのは、地域部門の「国際化・多文化共生の推進」が31.8%、生活・環境の「男女共同参画の推進」36.0%、基盤の「公園緑地の整備」37.9%、地域の「地域活動拠点の整備」39.9%などとなっており、生活・環境や地域に関する項目で重要度が低いものが多くなっています。

江田島市や地域・地区の現状、市の取組の現状の満足度について、各項目を一覧（8頁）すると、満足度（「とても満足」または「満足」と答えた割合）が高いのは、教育・文化の「学校施設の整備」17.3%、基盤の「上水道の整備」17.1%、生活・環境の「ゴミ対策・リサイクルの推進」13.9%、「下水道の整備」13.5%、などが比較的評価が高くなっています。

この他、教育・文化、安全・安心、基盤、全般・その他に関する項目の一部にも、満足度が10%を超えているものがあります。

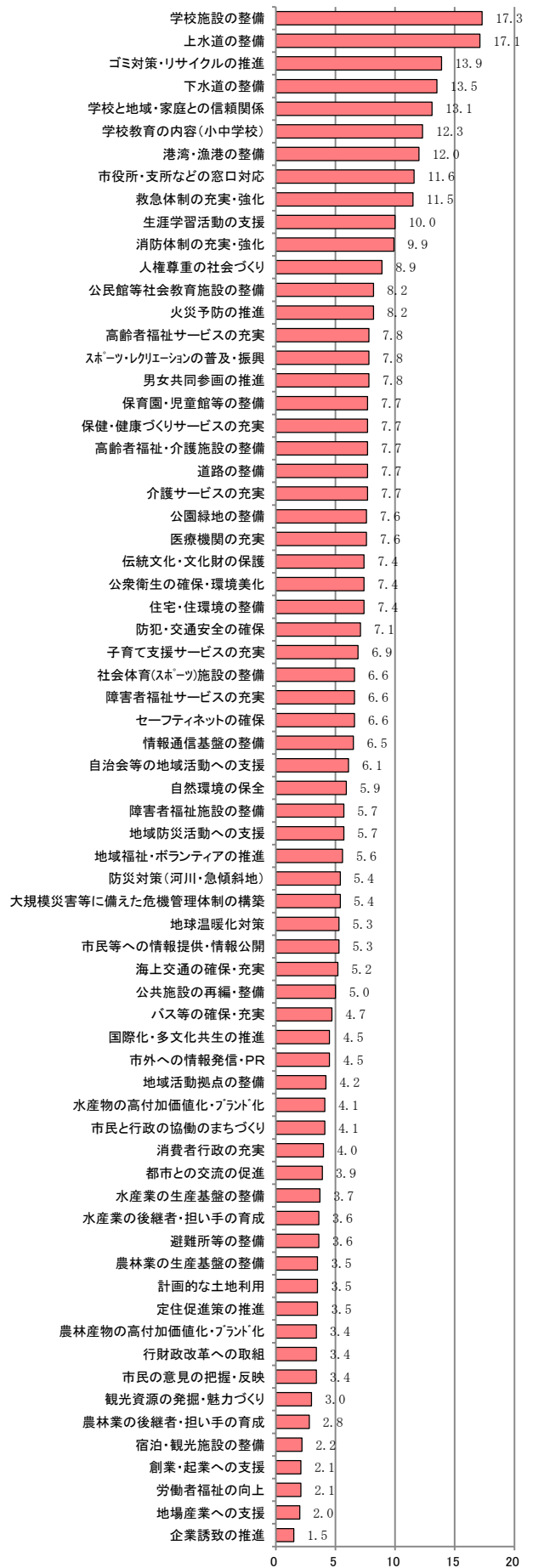
一方、満足度が低いのは、産業・観光の「企業誘致の推進」が1.5%で、次いで「地場産業への支援」2.0%、「創業・起業への支援」と「労働者福祉の向上」2.1%、「宿泊・観光施設の整備」2.2%、「農林業の後継者・担い手の育成」2.8%などとなっており、産業・観光で満足度が低くなっています。

図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての今後の重要度 (特に重要+重要)

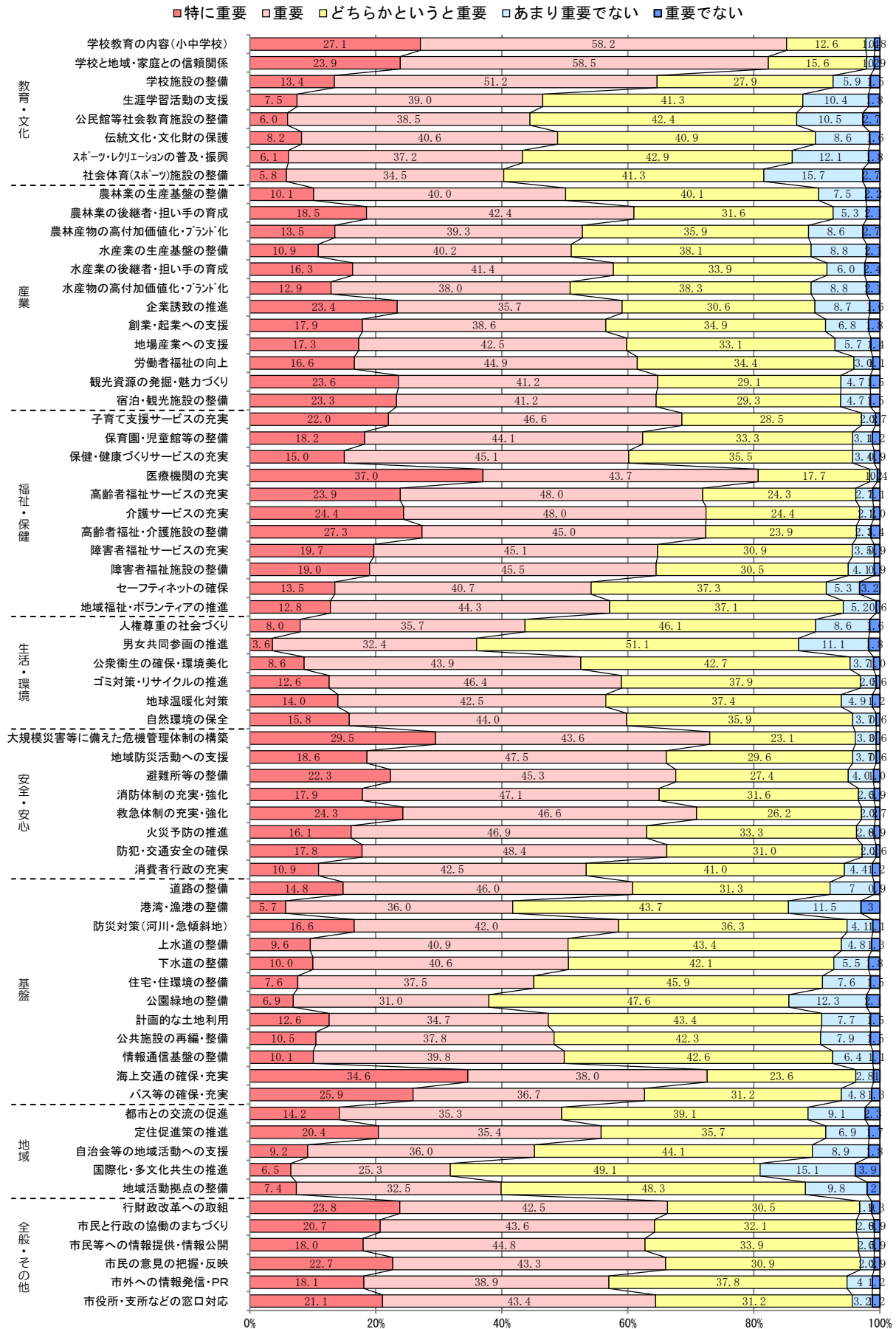


注：無回答を除く割合

図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての現在の満足度 (とても満足+満足)

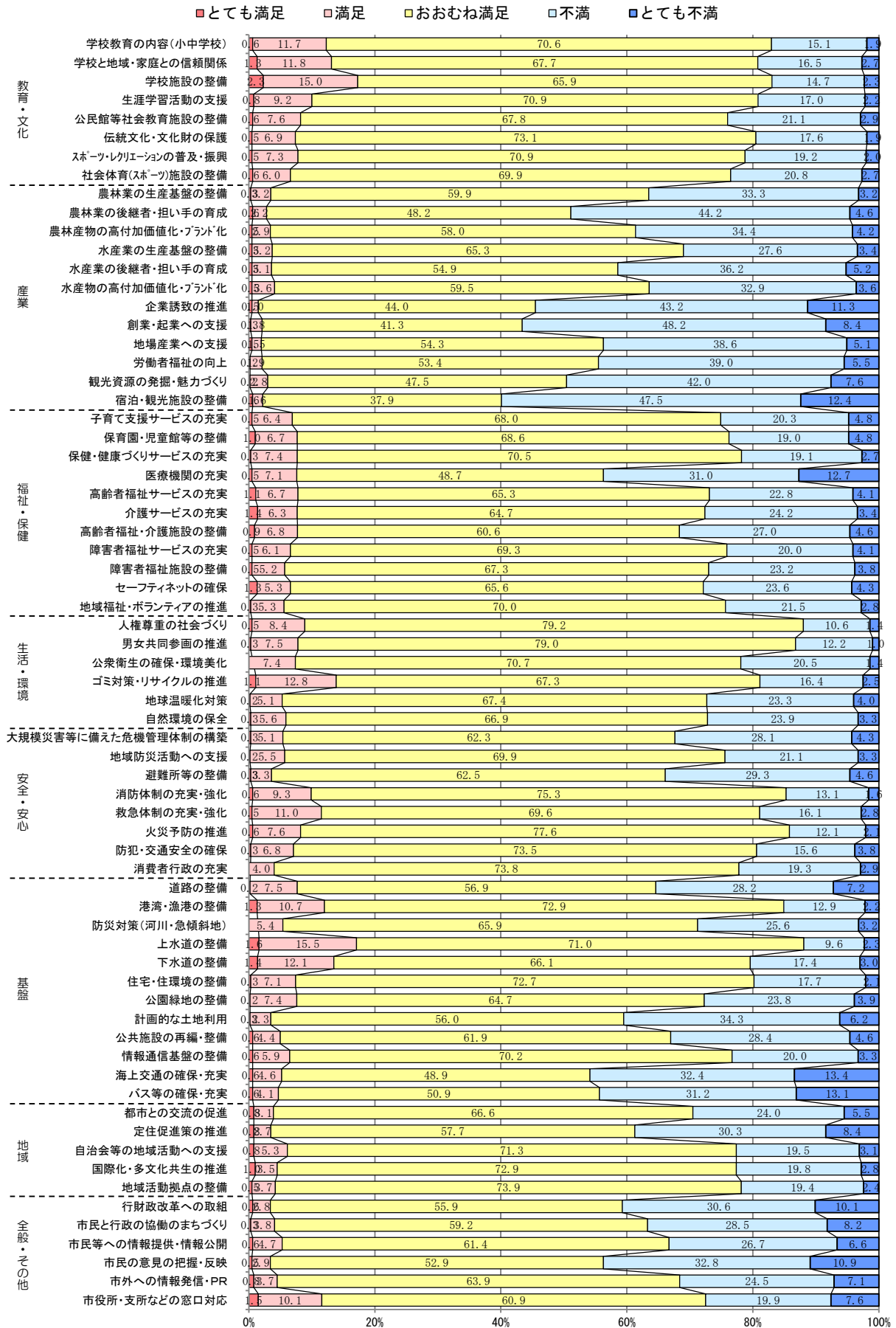


参考図 江田島市や地域・地区の現状，市の取組についての今後の重要度・・・部門別



注：無回答を除く割合

参考図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての現在の満足度・・・部門別



注：無回答を除く割合

2 江田島市や地域・地区の現状、市の取組の評価

ここでは、市民アンケート調査により、重要度（市民重要度）と満足度（市民満足度）について、測定可能な定量（数値：ポイント・点）を算出することで、部門別、項目別の評価を行います。

回答1件当たりに次のとおり配点し、その合計値÷有効回答数を「ポイント・点」とします。

注：無回答の調査票はポイント算出の対象としない

重要度ポイント (市民重要度)	特に重要	100点
	重要	80点
	どちらかという重要	60点
	あまり重要でない	40点
	重要でない	20点

満足度ポイント (市民満足度)	とても満足	100点
	満足	80点
	おおむね満足	60点
	不満	40点
	とても不満	20点

(1) 重要度ポイント、満足度ポイント

江田島市や地域・地区の現状、市の取組における重要度ポイントとしては、「医療機関の充実」が83.1点で最も高く、次いで「学校教育の内容（小中学校）」が81.9点、「学校と地域・家庭との信頼関係」が80.6点、「海上交通の確保・充実」が80.4点となっており、これら4つが80点を超えています。

その他、「大規模災害等に備えた危機管理体制の構築」79.6点、「高齢者福祉・介護施設の整備」78.9点、「介護サービスの充実」78.5点、「救急体制の充実・強化」78.3点、「高齢者福祉サービスの充実」78.1%などとなっており、教育、福祉・保健、安全・安心、交通などについての重要度が高いといえます。

一方で、「国際化・多文化共生の推進」が63.1点、「社会体育施設の整備」65.0点、「男女共同参画の推進」65.0点となっており、他の項目に比べると重要度は低くなっています。

江田島市や地域・地区の現状、市の取組における満足度点としては、「上水道の整備」が60.9点で最も高く、次いで「学校施設の整備」が60.1点で、この2項目が60点を超えています。その他、「人権尊重の社会づくり」、「港湾・漁港の整備」が59.2点などとなっています。

一方で、「宿泊・観光施設の整備」が46.1点で最も低く、次いで「企業誘致の推進」が47.2点、「創業・起業への支援」が47.5点、「海上交通の確保・充実」が49.3点、「バス等の確保・充実」が49.6点、「市民の意見の把握・反映」が49.8点と50点を下回っており、産業・観光、交通などで満足度の低い項目がみられます。

図 江田島市における重要度ポイント

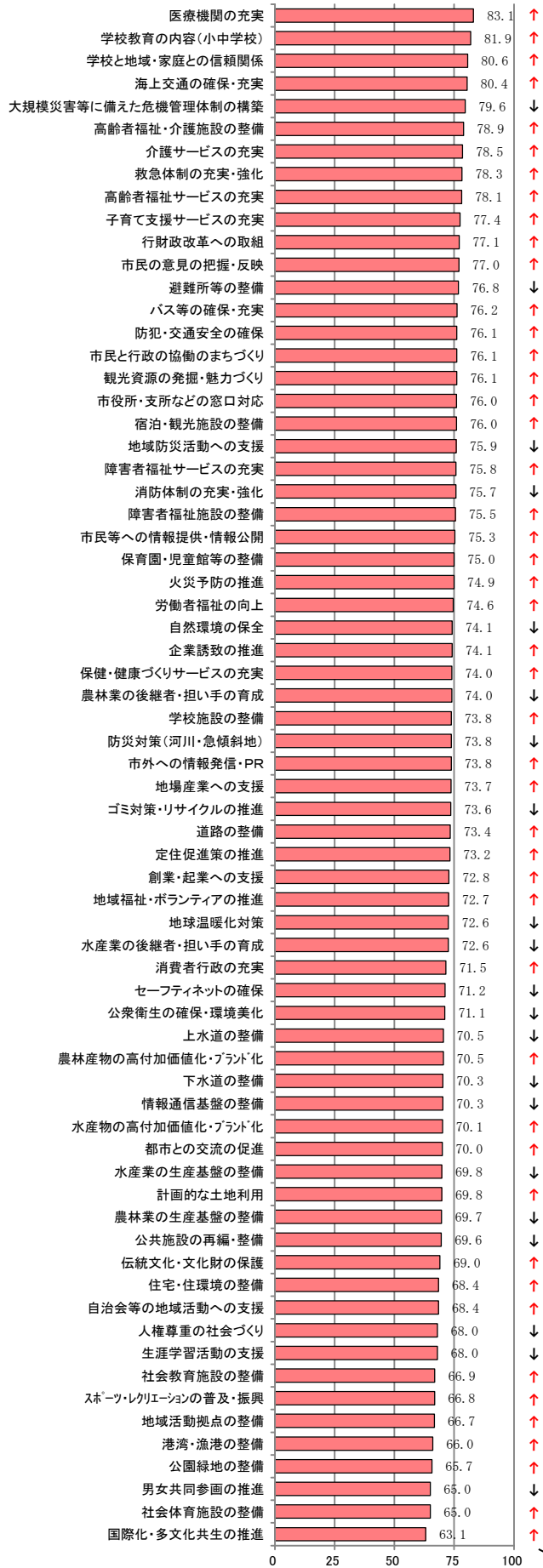
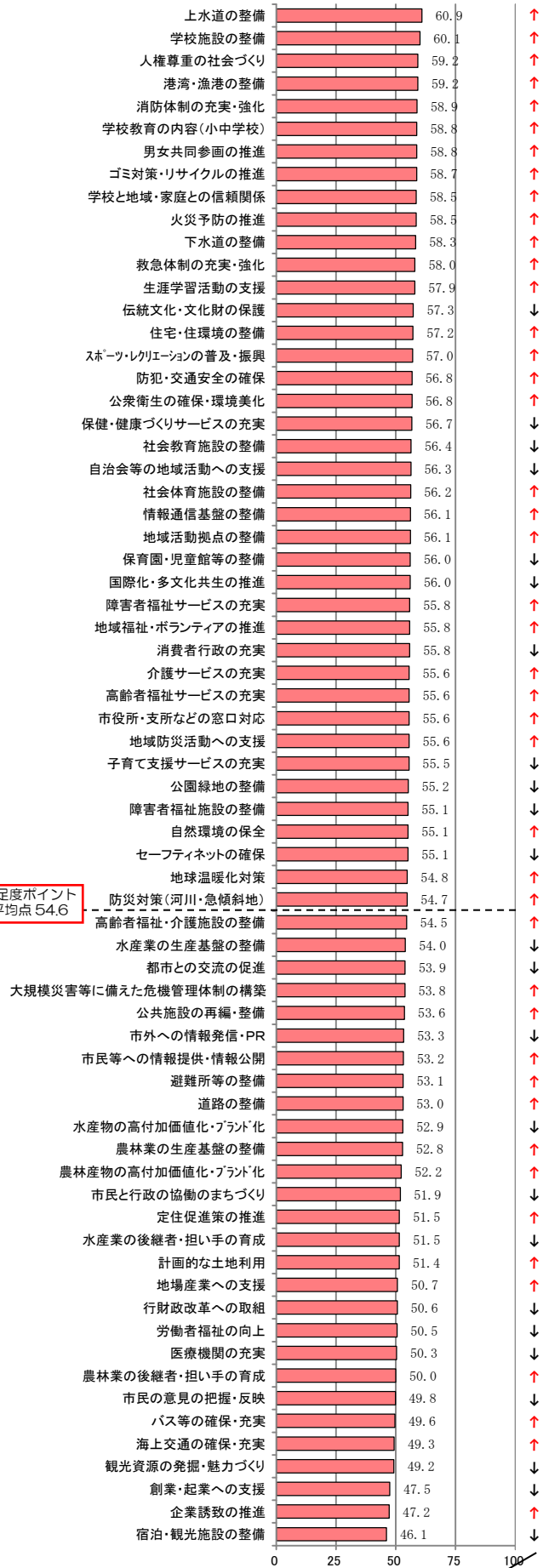
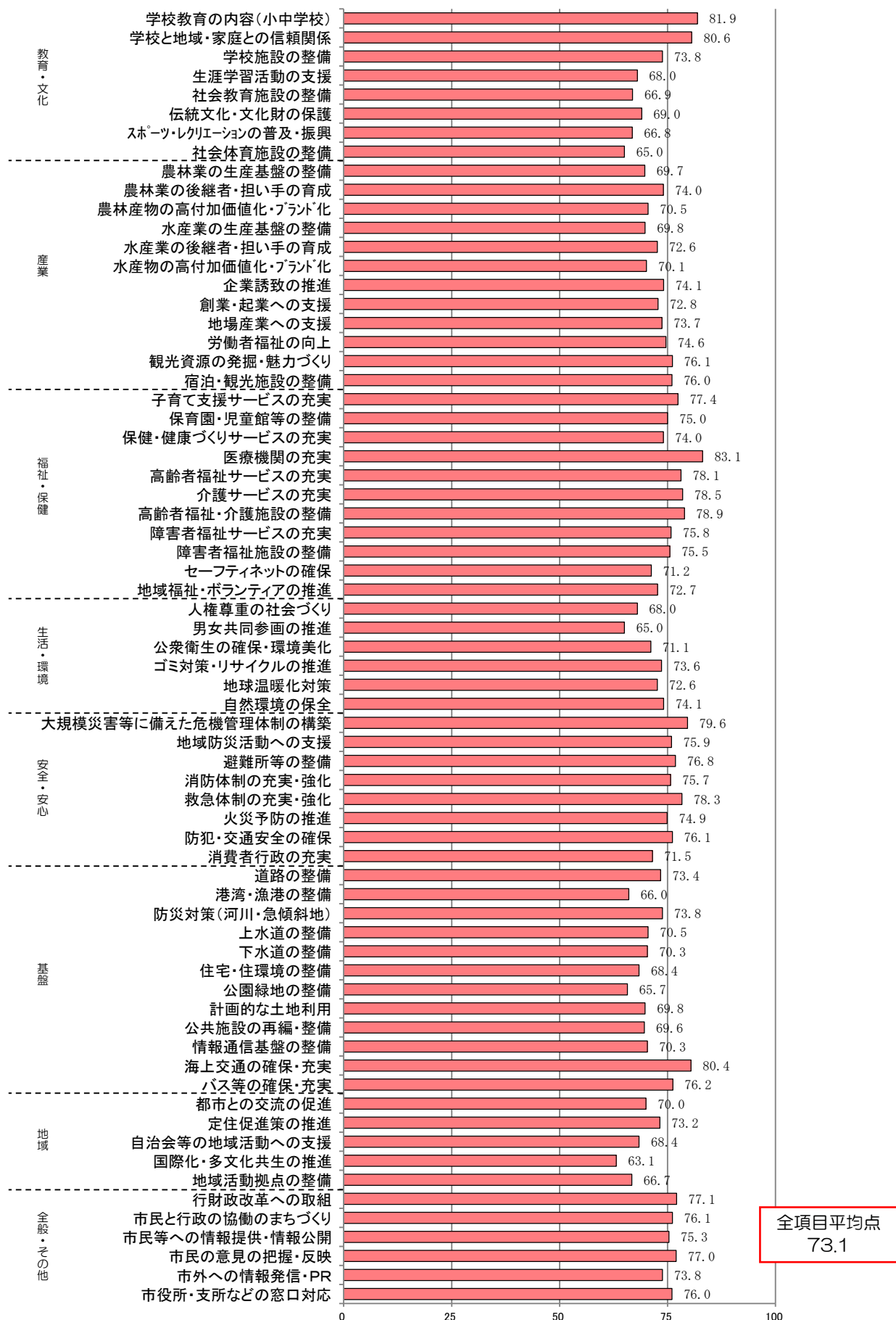


図 江田島市における満足度ポイント



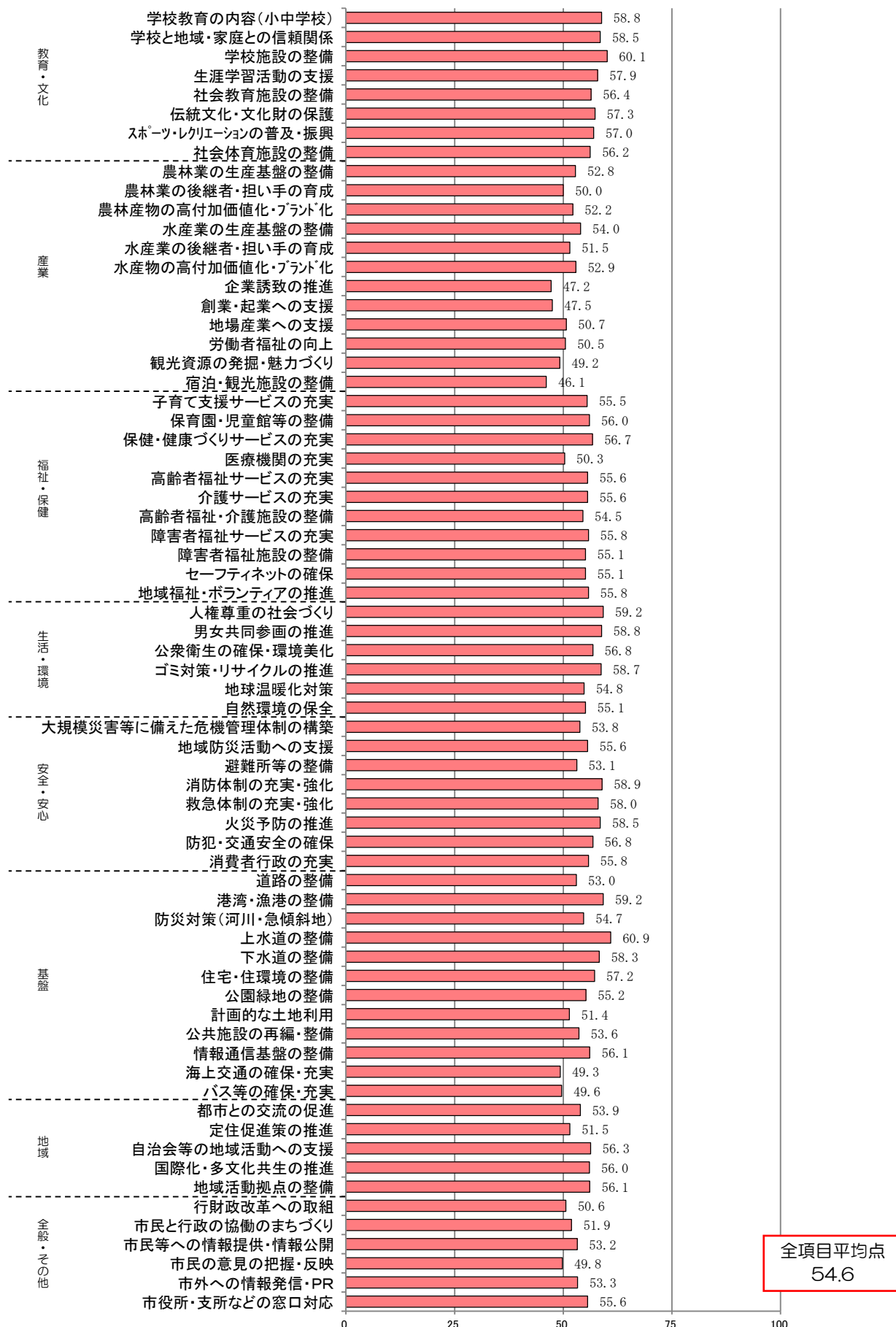
昨年度調査との比較(増減状況)

参考図 江田島市における重要度ポイント（市民重要度）・・・部門別



全項目平均点
73.1

参考図 江田島市における満足度ポイント（市民満足度）・・・部門別



前回調査（平成 25 年度）と重要度ポイント、満足度ポイントの推移をみると、重要度ポイントの変化量では「都市との交流の促進」，「市民と行政の協働のまちづくり」で 3.1 点と最も上昇しているなど、福祉・保健，地域，全般・その他の部門では全項目で重要度ポイントが上昇しています。

一方，「農林業の生産基盤の整備」，「避難所の整備」，「情報通信基盤の整備」ではマイナス 1.5 点と最も減少しているほか，生活・環境，安全・安心，基盤などの部門で減少している項目がみられます。

表 重要度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	平成 25 年	平成 26 年
1	地域	都市との交流の促進	3.1	66.9	70.0
	全般・その他	市民と行政の協働のまちづくり	3.1	73.0	76.1
3	地域	国際化・多文化共生の推進	2.9	60.2	63.1
4	全般・その他	行財政改革への取組	2.8	74.3	77.1
5	地域	地域活動拠点の整備	2.4	64.3	66.7
	全般・その他	市外への情報発信・PR	2.4	71.4	73.8
63	生活環境	公衆衛生の確保・環境美化	▲1.2	72.3	71.1
	生活環境	男女共同参画の推進	▲1.2	66.2	65.0
	生活環境	人権尊重の社会づくり	▲1.2	69.2	68.0
66	基盤	情報通信基盤の整備	▲1.5	71.8	70.3
	安全・安心	避難所等の整備	▲1.5	78.3	76.8
	産業・観光	農林業の生産基盤の整備	▲1.5	71.2	69.7

満足度ポイントの変化量では，「情報通信基盤の整備」，「大規模災害等に備えた危機管理体制の構築」，「公衆衛生の確保・環境美化」で 2 点以上の上昇となっているなど，教育・文化，生活・環境，安全・安心，基盤の部門では上昇している項目が多くなっています。

一方，「創業・起業への支援」，「子育て支援サービスの充実」では 1 点を超える減少となっているなど，産業・観光，福祉・保健などの部門で満足度の減少している項目が多く見られます。

表 満足度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	平成 25 年	平成 26 年
1	基盤	情報通信基盤の整備	3.8	52.3	56.1
2	安全・安心	大規模災害等に備えた危機管理体制の構築	2.7	51.1	53.8
3	生活・環境	公衆衛生の確保・環境美化	2.4	54.4	56.8
4	安全・安心	地域防災活動への支援	1.8	53.8	55.6
	基盤	下水道の整備	1.8	56.5	58.3
63	産業・観光	水産物の高付加価値化・ブランド化	▲0.8	53.7	52.9
	福祉・保健	医療機関の充実	▲0.8	51.1	50.3
65	教育・文化	社会教育施設の整備	▲0.9	57.3	56.4
	福祉・保健	保育園・児童館等の整備	▲0.9	56.9	56.0
67	福祉・保健	子育て支援サービスの充実	▲1.2	56.7	55.5
68	産業・観光	創業・起業への支援	▲1.5	49.0	47.5

表 市民満足度調査（平成25年度、26年度）による重要度ポイント、満足度ポイントの変化状況

部門	項目（設問）	平成25年度	平成26年度	変化量	平成25年度	平成26年度	変化量
		重要度 ポイント	重要度 ポイント		満足度 ポイント	満足度 ポイント	
教育・文化	問2-1 学校教育の内容（小中学校）	80.0	81.9	1.9	58.0	58.8	0.8
	問2-2 学校と地域・家庭との信頼関係	79.6	80.6	1.0	57.4	58.5	1.1
	問2-3 学校施設の整備	72.0	73.8	1.8	59.1	60.1	1.0
	問2-4 生涯学習活動の支援	68.5	68.0	▲0.5	57.6	57.9	0.3
	問2-5 社会教育施設の整備	65.7	66.9	1.2	57.3	56.4	▲0.9
	問2-6 伝統文化・文化財の保護	67.4	69.0	1.6	57.8	57.3	▲0.5
	問2-7 スポーツ・レクリエーションの普及・振興	64.8	66.8	2.0	56.3	57.0	0.7
	問2-8 社会体育施設の整備	63.6	65.0	1.4	55.8	56.2	0.4
産業・観光	問2-9 農林業の生産基盤の整備	71.2	69.7	▲1.5	52.2	52.8	0.6
	問2-10 農林業の後継者・担い手の育成	75.0	74.0	▲1.0	49.1	50.0	0.9
	問2-11 農林産物の高付加価値化・ブランド化	70.4	70.5	0.1	51.1	52.2	1.1
	問2-12 水産業の生産基盤の整備	69.8	69.8	0.0	54.3	54.0	▲0.3
	問2-13 水産業の後継者・担い手の育成	72.6	72.6	0.0	51.5	51.5	0.0
	問2-14 水産物の高付加価値化・ブランド化	70.1	70.1	0.0	53.7	52.9	▲0.8
	問2-15 企業誘致の推進	74.0	74.1	0.1	46.3	47.2	▲0.9
	問2-16 創業・起業への支援	71.3	72.8	1.5	49.0	47.5	▲1.5
	問2-17 地場産業への支援	72.7	73.7	1.0	50.5	50.7	0.2
	問2-18 労働者福祉の向上	74.0	74.6	0.6	50.9	50.5	▲0.4
	問2-19 観光資源の発掘・魅力づくり	74.4	76.1	1.7	49.7	49.2	▲0.5
	問2-20 宿泊・観光施設の整備	73.7	76.0	2.3	46.7	46.1	▲0.6
福祉・保健	問2-21 子育て支援サービスの充実	75.3	77.4	2.1	56.7	55.5	▲1.2
	問2-22 保育園・児童館等の整備	73.7	75.0	1.3	56.9	56.0	▲0.9
	問2-23 保健・健康づくりサービスの充実	71.9	74.0	2.1	57.1	56.7	▲0.4
	問2-24 医療機関の充実	81.5	83.1	1.6	51.1	50.3	▲0.8
	問2-25 高齢者福祉サービスの充実	77.2	78.1	0.9	54.8	55.6	0.8
	問2-26 介護サービスの充実	77.5	78.5	1.0	55.3	55.6	0.3
	問2-27 高齢者福祉・介護施設の整備	77.6	78.9	1.3	54.0	54.5	0.5
	問2-28 障害者福祉サービスの充実	75.0	75.8	0.8	55.3	55.8	0.5
	問2-29 障害者福祉施設の整備	74.2	75.5	1.3	55.3	55.1	▲0.2
	問2-30 セーフティネットの確保	71.2	71.2	0.0	55.7	55.1	▲0.6
	問2-31 地域福祉・ボランティアの推進	71.6	72.7	1.1	55.5	55.8	0.3
生活・環境	問2-32 人権尊重の社会づくり	69.2	68.0	▲1.2	58.0	59.2	1.2
	問2-33 男女共同参画の推進	66.2	65.0	▲1.2	57.9	58.8	0.9
	問2-34 公衆衛生の確保・環境美化	72.3	71.1	▲1.2	54.4	56.8	2.4
	問2-35 ゴミ対策・リサイクルの推進	73.8	73.6	▲0.2	57.3	58.7	1.4
	問2-36 地球温暖化対策	72.9	72.6	▲0.3	53.5	54.8	1.3
	問2-37 自然環境の保全	74.3	74.1	▲0.2	53.6	55.1	1.5
	問2-38 災害等に備えた危機管理体制の構築	80.3	79.6	▲0.7	51.1	53.8	2.7
安全・安心	問2-39 地域防災活動への支援	76.5	75.9	▲0.6	53.8	55.6	1.8
	問2-40 避難所等の整備	78.3	76.8	▲1.5	51.7	53.1	1.4
	問2-41 消防体制の充実・強化	76.7	75.7	▲1.0	57.8	58.9	1.1
	問2-42 救急体制の充実・強化	78.2	78.3	0.1	57.2	58.0	0.8
	問2-43 火災予防の推進	74.8	74.9	0.1	57.5	58.5	1.0
	問2-44 防犯・交通安全の確保	76.0	76.1	0.1	56.2	56.8	0.6
	問2-45 消費者行政の充実	71.4	71.5	0.1	56.0	55.8	▲0.2
	問2-46 道路の整備	72.6	73.4	0.8	53.0	53.0	0.0
	問2-47 港湾・漁港の整備	65.2	66.0	0.8	58.9	59.2	0.3
基盤	問2-48 防災対策（河川・急傾斜地）	74.2	73.8	▲0.4	54.1	54.7	0.6
	問2-49 上水道の整備	71.1	70.5	▲0.6	60.2	60.9	0.7
	問2-50 下水道の整備	70.3	70.3	0.0	56.5	58.3	1.8
	問2-51 住宅・住環境の整備	68.1	68.4	0.3	57.0	57.2	0.2
	問2-52 公園緑地の整備	64.0	65.7	1.7	55.4	55.2	▲0.2
	問2-53 計画的な土地利用	69.7	69.8	0.1	51.1	51.4	0.3
	問2-54 公共施設の再編・整備	69.9	69.6	▲0.3	52.8	53.6	0.8
	問2-55 情報通信基盤の整備	71.8	70.3	▲1.5	52.3	56.1	3.8
	問2-56 海上交通の確保・充実	79.7	80.4	0.7	48.9	49.3	0.4
	問2-57 バス等の確保・充実	74.8	76.2	1.4	48.5	49.6	1.1
	地域	問2-58 都市との交流の促進	66.9	70.0	3.1	54.4	53.9
問2-59 定住促進策の推進		72.3	73.2	0.9	51.4	51.5	0.1
問2-60 自治会等の地域活動への支援		68.1	68.4	0.3	56.3	56.3	0.0
問2-61 国際化・多文化共生の推進		60.2	63.1	2.9	56.6	56.0	▲0.6
問2-62 地域活動拠点の整備		64.3	66.7	2.4	56.0	56.1	0.1
全般・その他	問2-63 行財政改革への取組	74.3	77.1	2.8	50.7	50.6	▲0.1
	問2-64 市民と行政の協働のまちづくり	73.0	76.1	3.1	52.3	51.9	▲0.4
	問2-65 市民等への情報提供・情報公開	73.6	75.3	1.7	53.2	53.2	0.0
	問2-66 市民の意見の把握・反映	74.9	77.0	2.1	50.5	49.8	▲0.7
	問2-67 市外への情報発信・PR	71.4	73.8	2.4	54.0	53.3	▲0.7
	問2-68 市役所・支所などの窓口対応	75.6	76.0	0.4	54.1	55.6	1.5

(2) 部門ごとでの重要度ポイント，満足度ポイントの状況

重要度ポイントについて部門ごとにみると、「福祉・保健」が76.4点で最も高く、次いで「安全・安心」76.1点、「全般・その他」75.9点となっており、これら3部門が全項目平均値（73.1点）を上回っています。

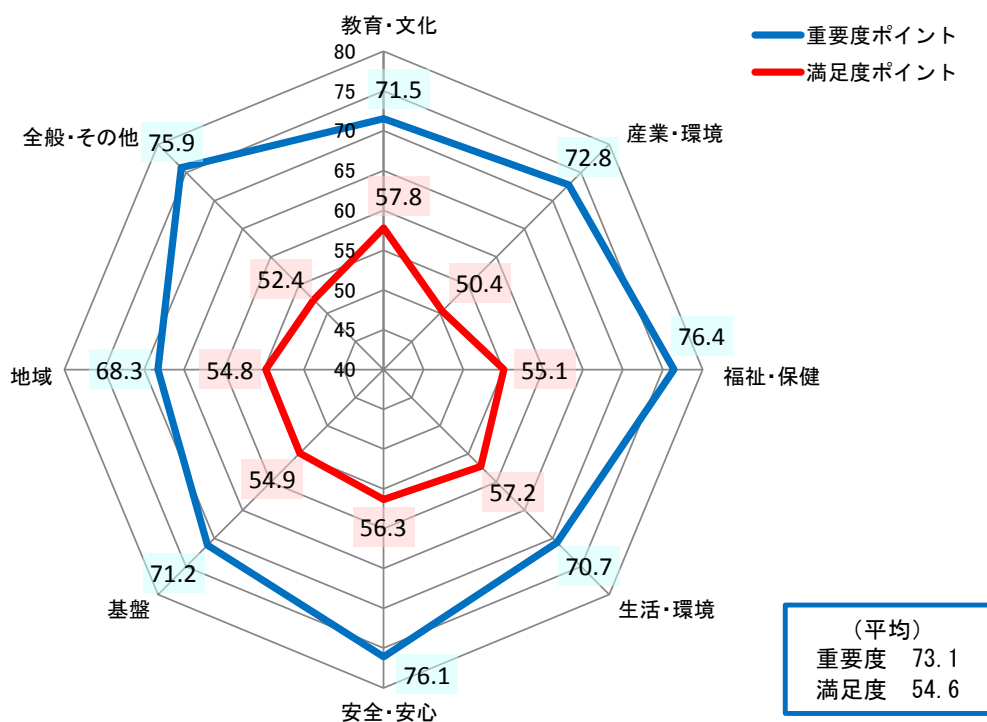
満足度ポイントについては、「教育・文化」が57.8点で最も高く、次いで「生活・環境」57.2点などとなっています。

重要度ポイントと満足度ポイントの関係についてみると、「産業・環境」や「全般・その他」では満足度ポイントが平均値を下回っていることから、重要度ポイントも高くなっているといえます。

一方、一定程度の満足度ポイントのある「福祉・保健」，「安全・安心」部門では、市民が今後においても重要であると捉えていると考えられます。

また居住地区別（次頁参照）にみても、概ね同様の傾向となっていますが、能美町で「全般・その他」の重要度ポイントが79.3点と高くなっています。

図 部門別の重要度ポイント，満足度ポイント



参考：居住地別部門別ポイント状況

図 江田島町

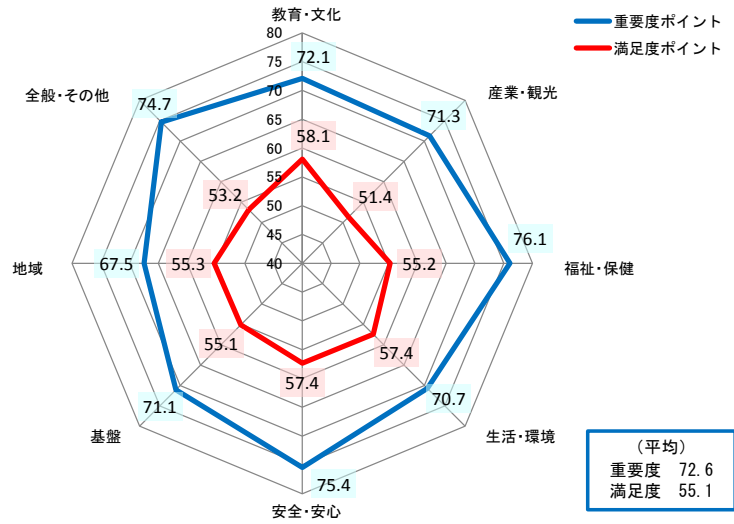


図 能美町

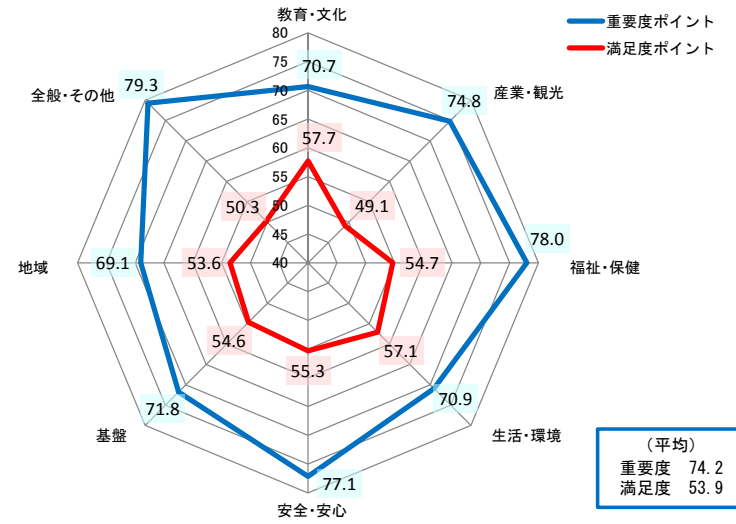


図 沖美町

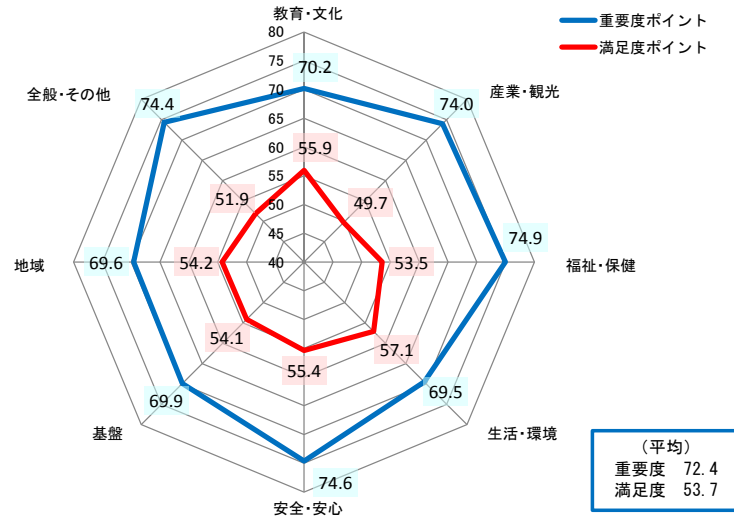
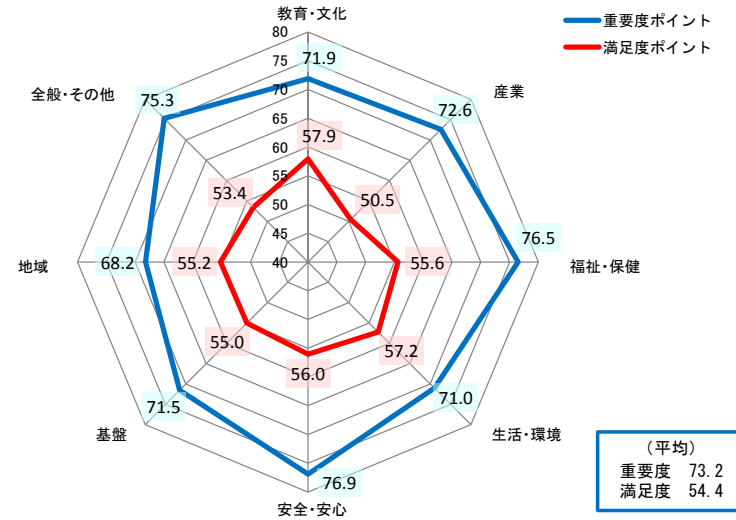


図 大柿町



(3) 部門別の重要度ポイント，満足度ポイントの状況

ア 教育・文化

教育・文化部門の項目別にみると、「学校教育の内容（小中学校）」，「学校と地域・家庭との信頼関係」については，満足度ポイントが平均値を超えている中でも重要度ポイントが80点を超えており，今後も重要であると捉えられていると言えます。

図 教育・文化部門のポイント状況

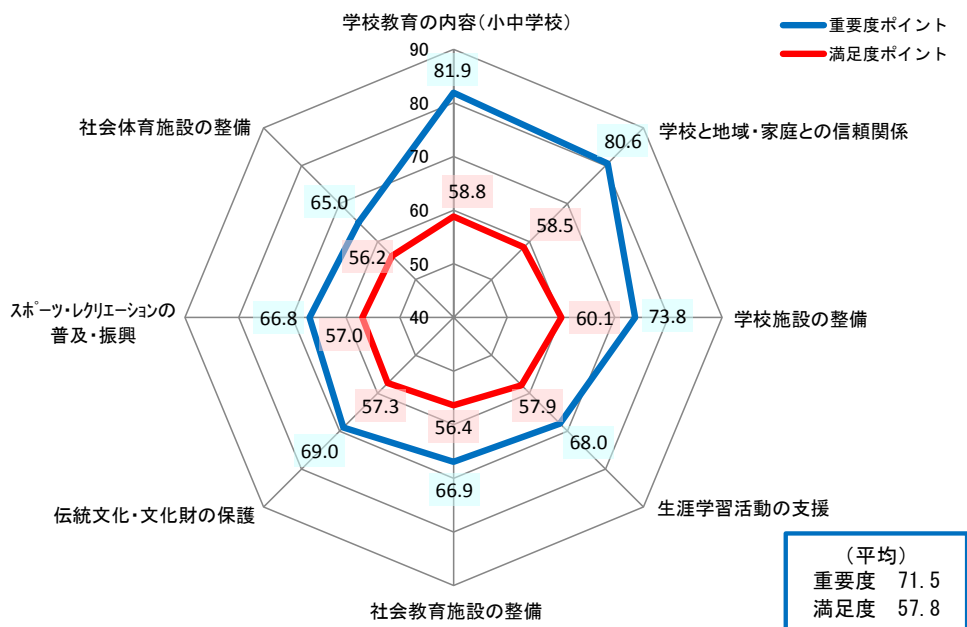


図 江田島町

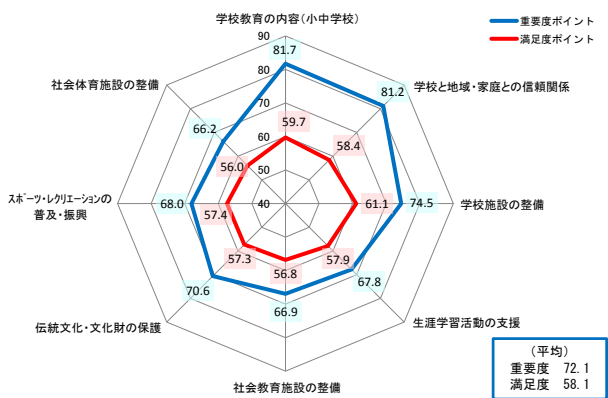


図 能美町

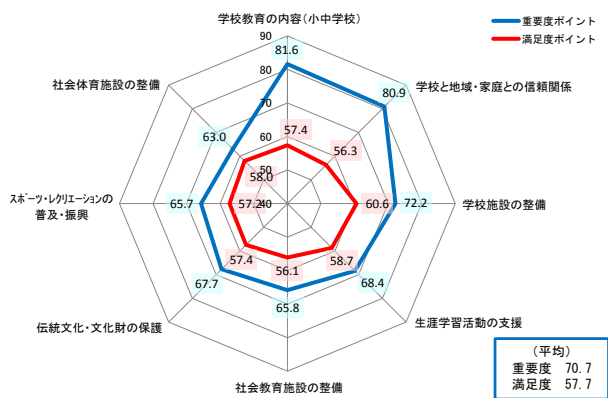


図 沖美町

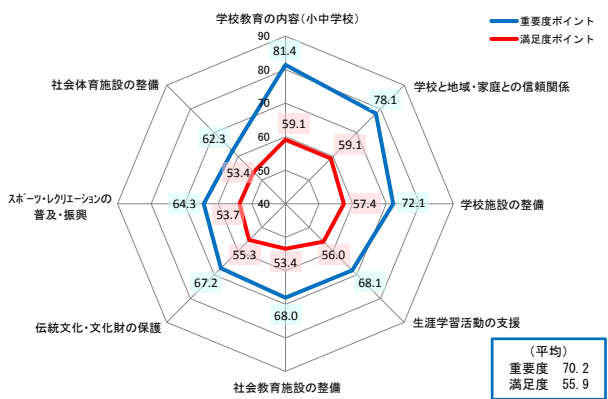
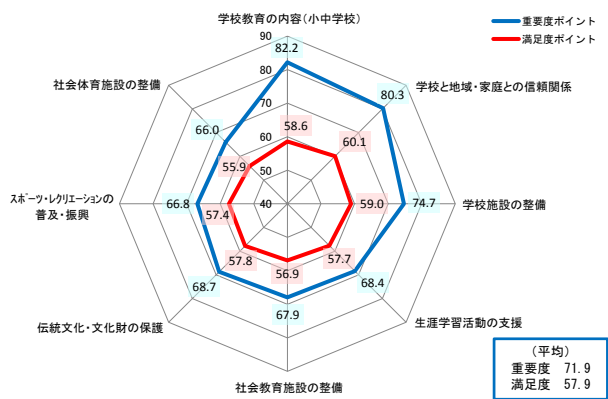


図 大柿町



イ 産業・観光

産業・観光部門の項目別にみると、総じて満足度ポイントが低くなっており、重要度ポイントとの乖離が大きくなっています。特に「企業誘致の推進」、「創業・起業への支援」、「観光資源の発掘・魅力づくり」、「宿泊・観光施設の整備」、「農林業の後継者・担い手の育成」の5項目では25点以上の乖離となっています。

図 産業・観光部門のポイント状況

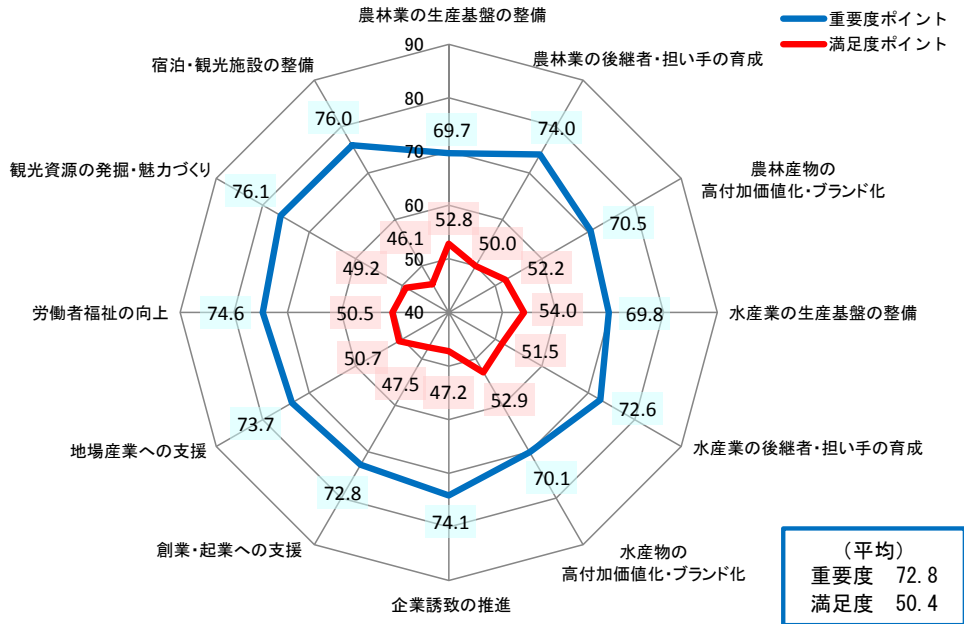


図 江田島町

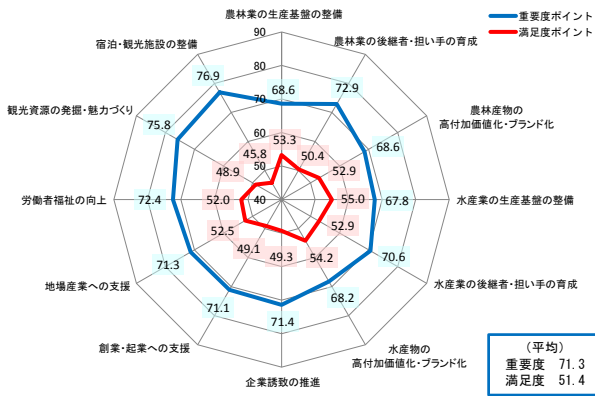


図 能美町

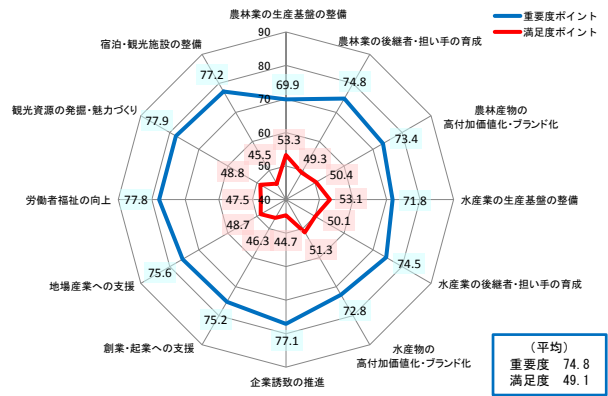


図 沖美町

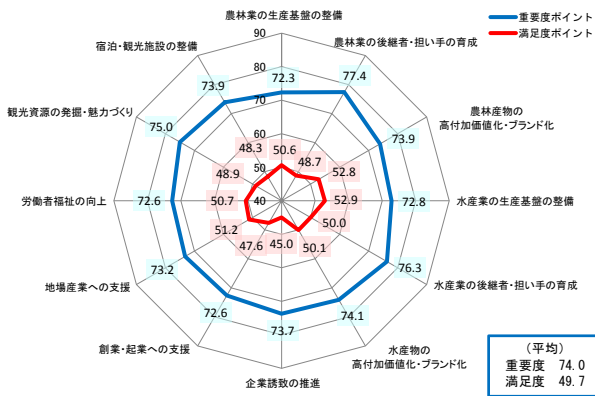
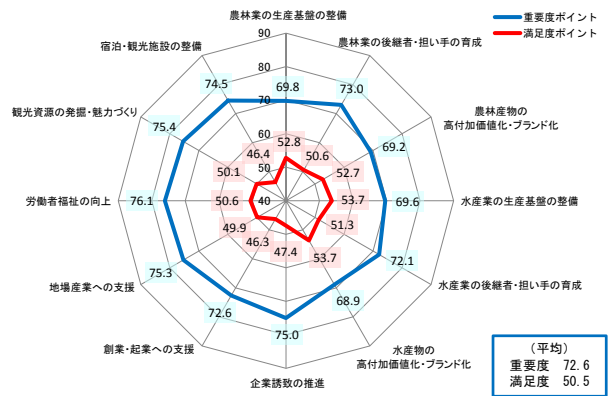


図 大柿町



ウ 福祉・保健

福祉・保健部門の項目別にみると、総じて重要度ポイントは高くなっています。特に「医療機関の充実」は83.1点と最も高く、また満足度ポイントとの乖離も32.8点と大きくなっています。

図 福祉・保健部門のポイント状況

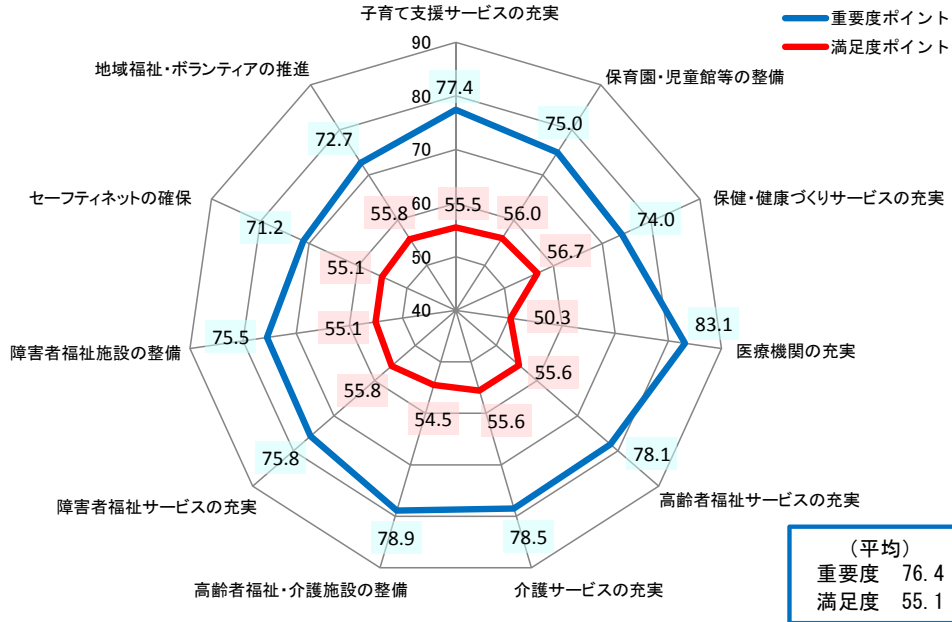


図 江田島町

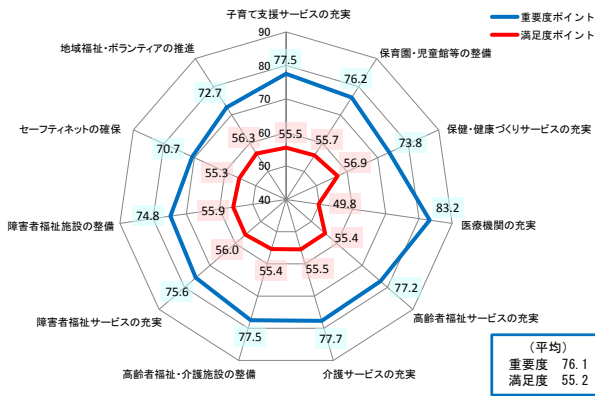


図 能美町

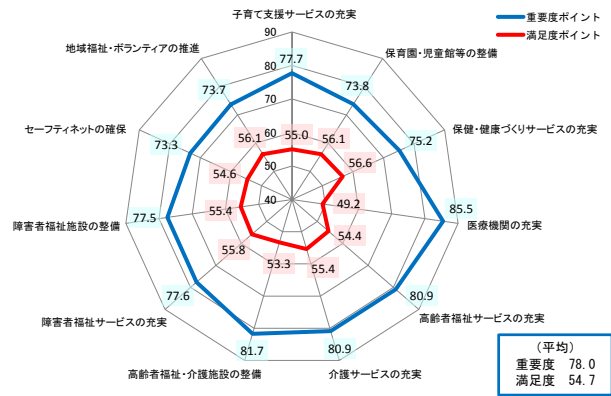


図 沖美町

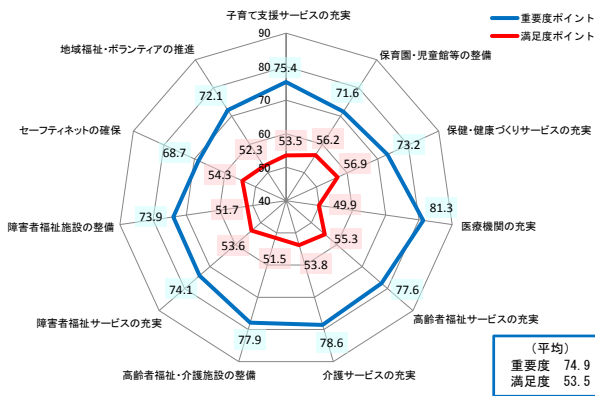
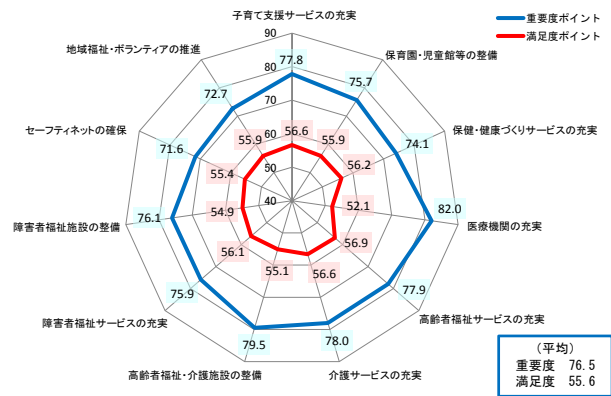


図 大柿町



エ 生活・環境

生活・環境部門の項目別にみると、「自然環境の保全」、「ゴミ対策・リサイクルの推進」など環境系の項目で重要度ポイントが高くなっています。

一方で、「人権尊重の社会づくり」、「男女共同参画の推進」は満足度ポイントと重要度ポイントの乖離が小さいなど、環境系と生活系で差が見られます。

図 生活・環境部門のポイント状況

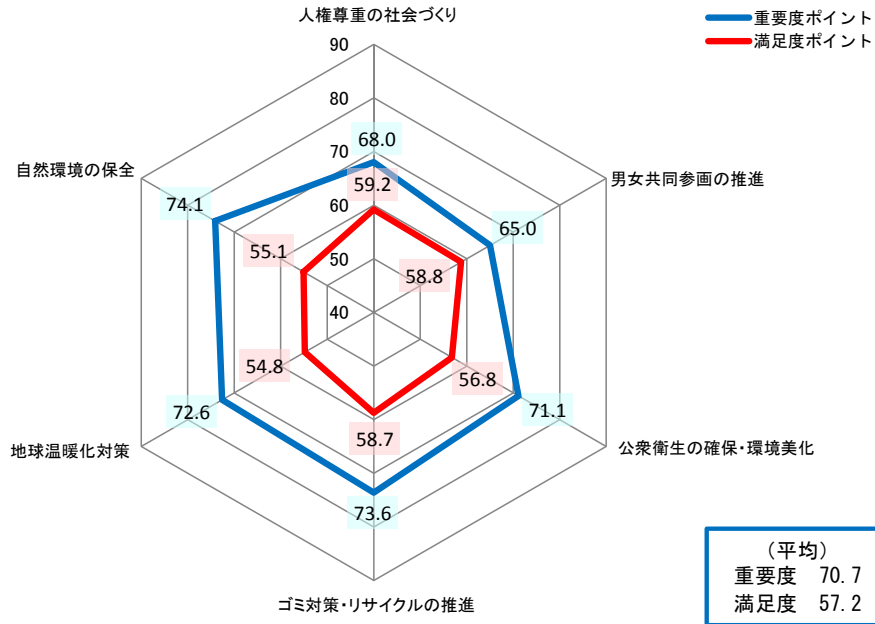


図 江田島町

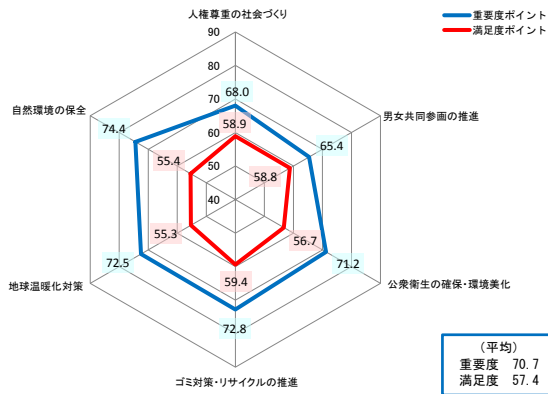


図 能美町

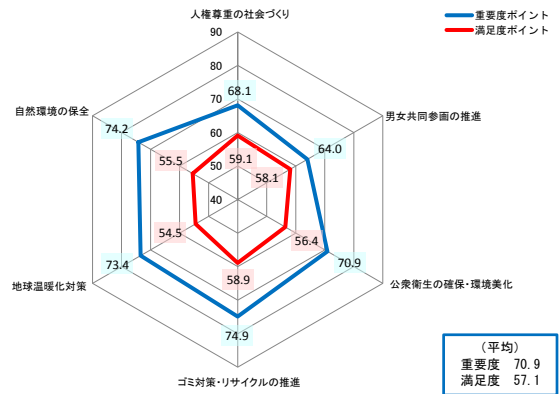


図 沖美町

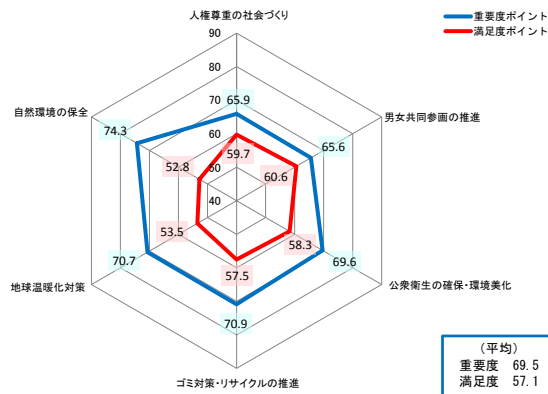
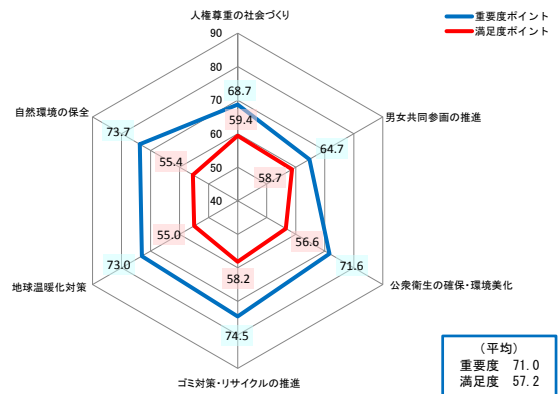


図 大柿町



オ 安全・安心

安全・安心部門の項目別にみると、「大規模災害等に備え危機管理体制の構築」, 「救急体制の充実・強化」, 「避難所等の整備」で重要度ポイントが平均値を上回っています。

特に「大規模災害等に備えた危機管理体制の構築」では満足度ポイントが53.8点と最も低くなっている一方で、重要度ポイントが79.6点と最も高くなっており、乖離も25.8点と大きくなっています。

図 安全・安心部門のポイント状況

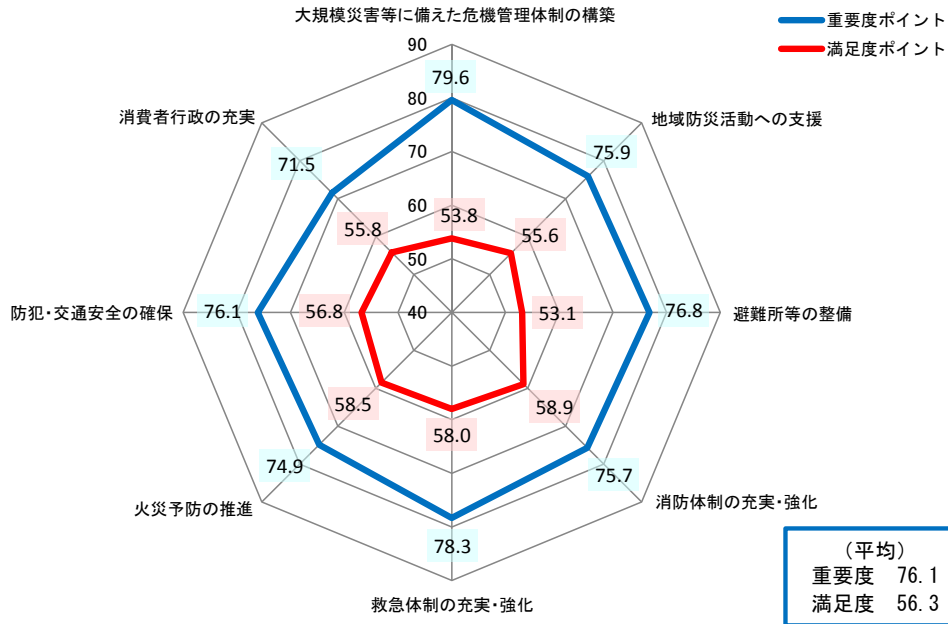


図 江田島町

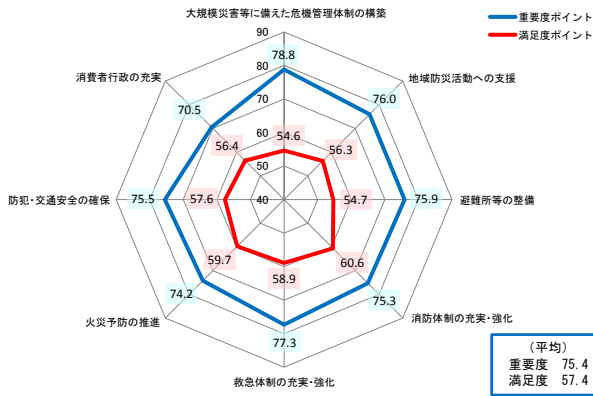


図 能美町

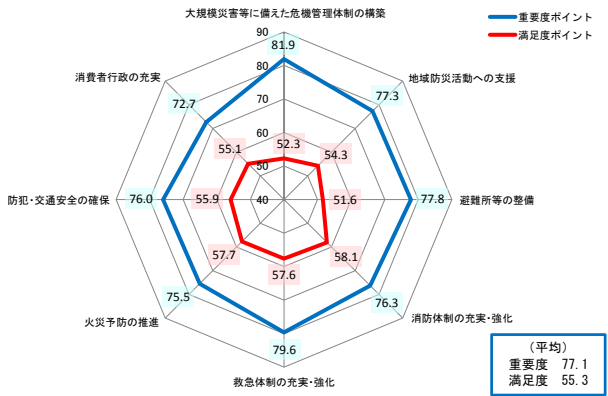


図 沖美町

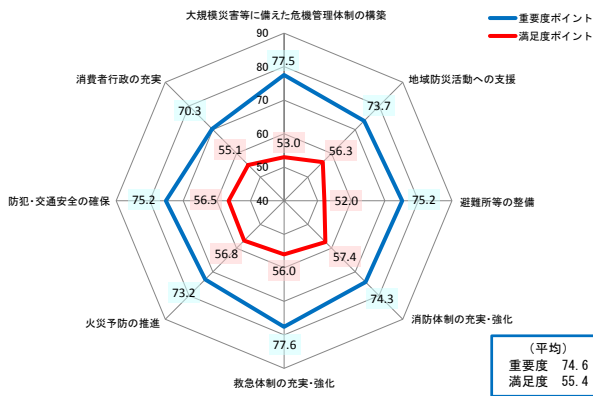
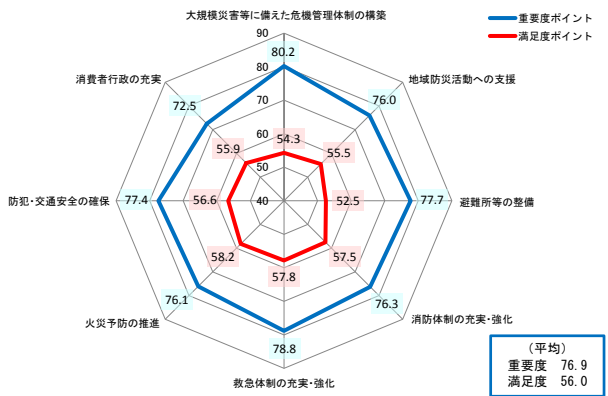


図 大柿町



カ 基盤

基盤部門の項目別にみると、「海上交通の確保・充実」と「バス等の確保・充実」で満足度ポイントが50点以下と低く、重要度ポイントが高い状況にあり、「道路の整備」も含めた交通系で乖離が大きくなっています。一方、「港湾・漁港の整備」や「公園緑地の整備」は重要度ポイントが比較的 low、満足度ポイントとの乖離も小さくなっています。

図 基盤部門のポイント状況

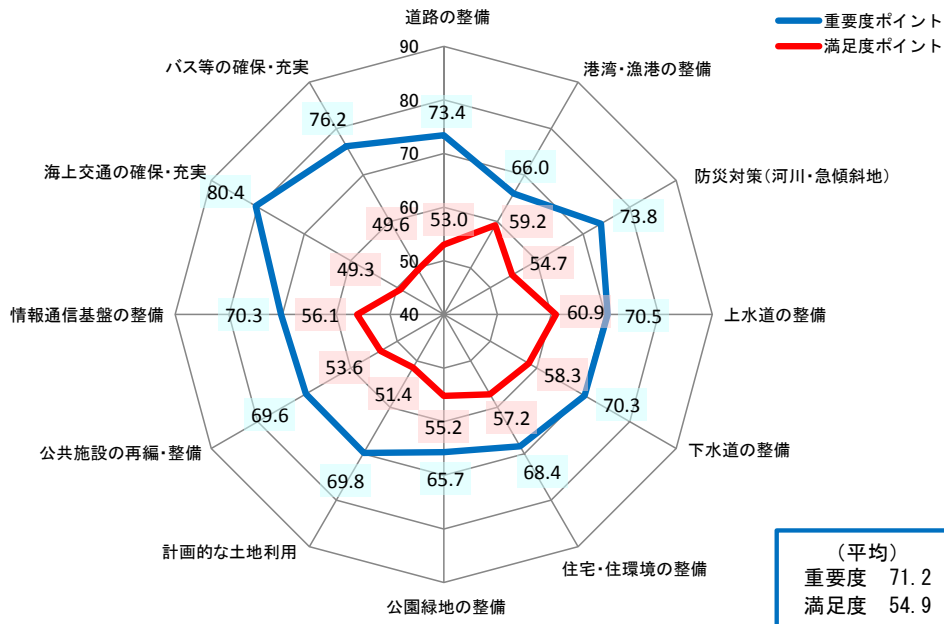


図 江田島町

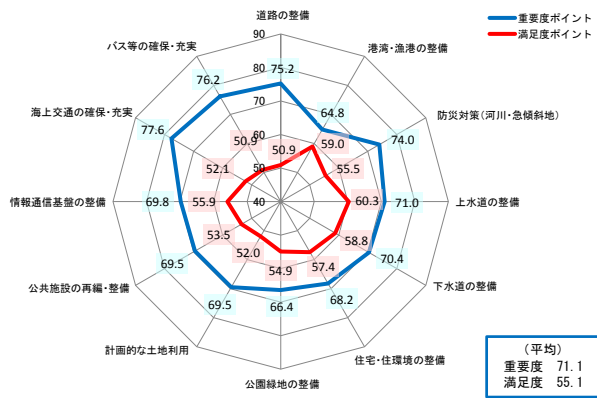


図 能美町

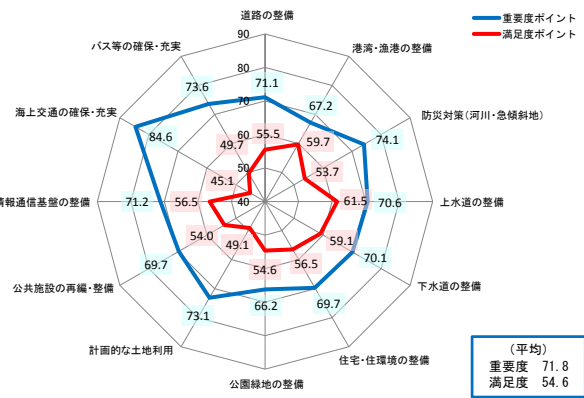


図 沖美町

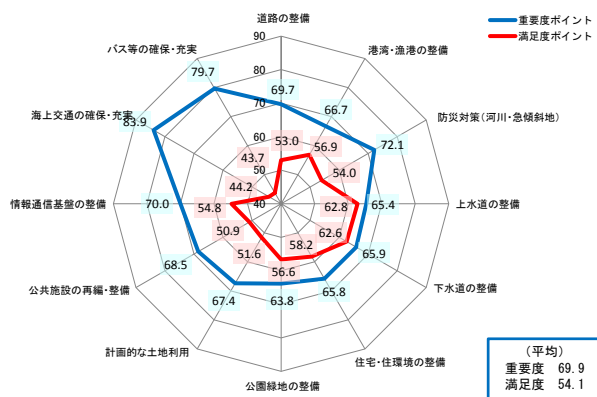
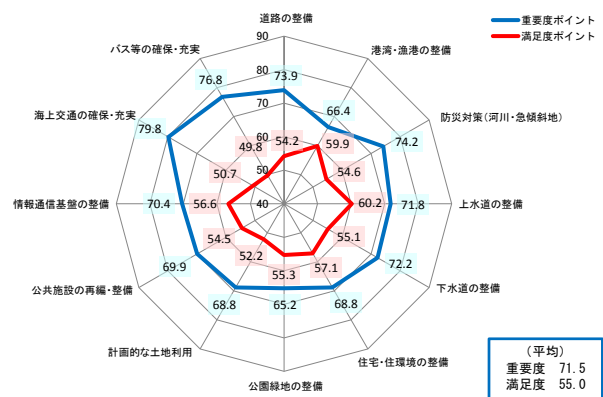


図 大柿町



キ 地域

地域部門の項目別にみると、重要度ポイントが比較的低い項目が多くなっていますが、「定住促進策の推進」が72.3点と高くなっています。

図 地域部門のポイント状況

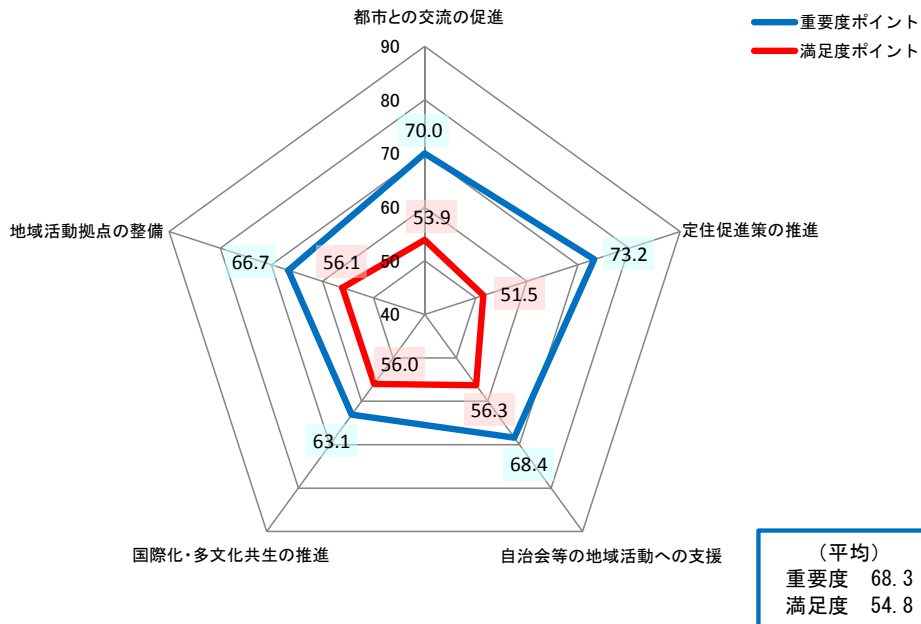


図 江田島町

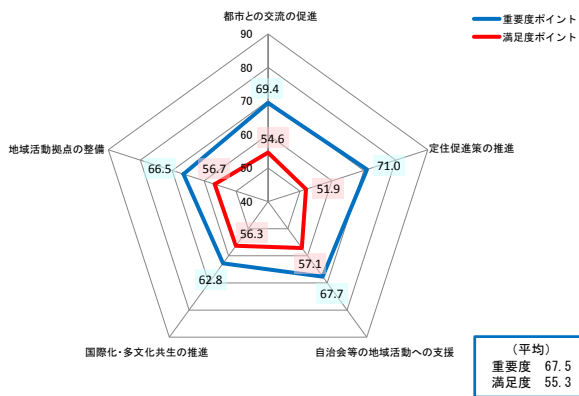


図 能美町

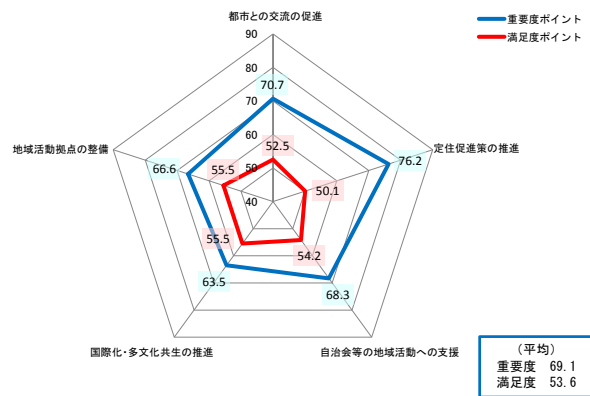


図 沖美町

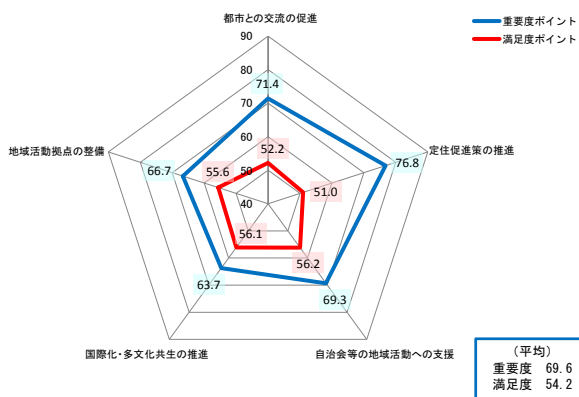
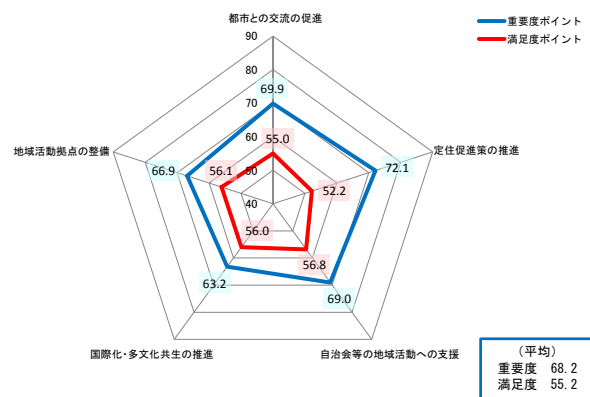


図 大柿町



ク 全般・その他

全般・その他部門の項目別にみると、「行財政改革への取組」や「市民の意見の把握・反映」で満足度ポイントが50点程度と低くなっています。

また、全項目で重要度ポイントが70点を超えており、満足度ポイントとの乖離も20点程度と大きくなっています。

図 全般・その他部門のポイント状況

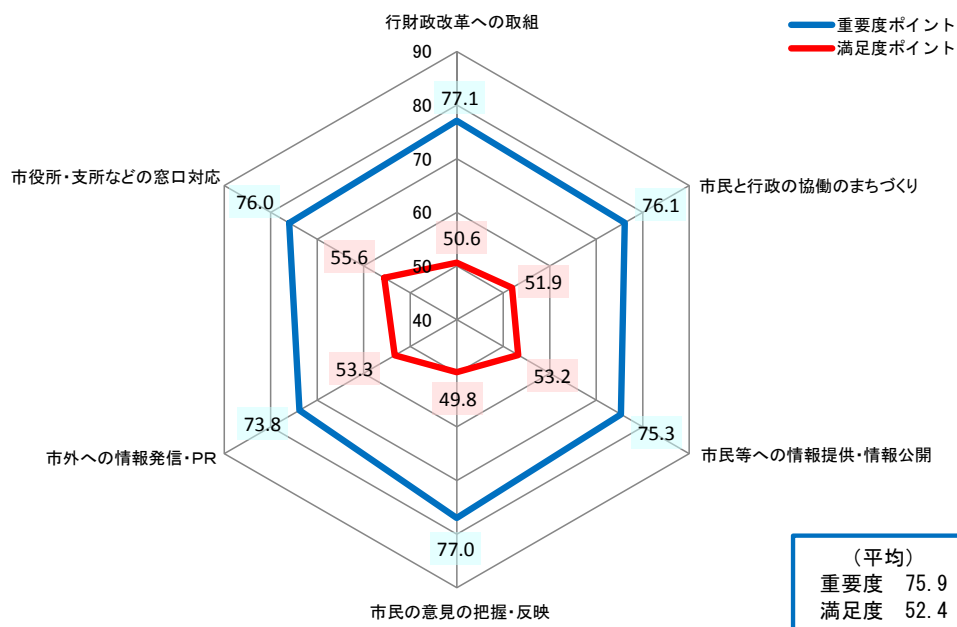


図 江田島町

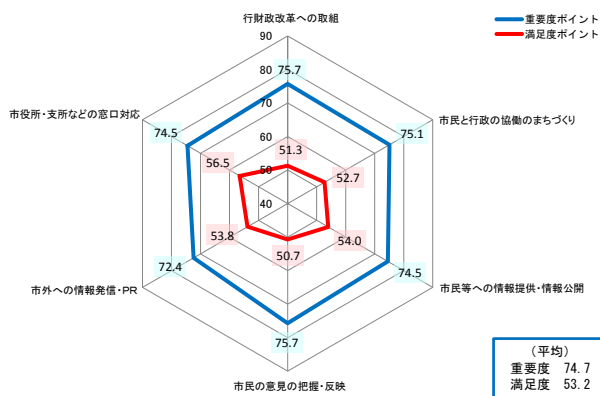


図 能美町

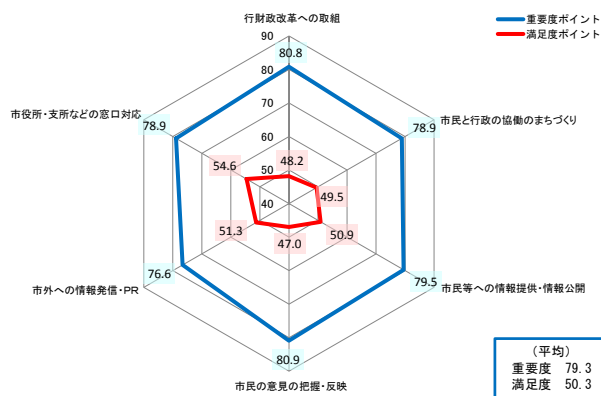


図 沖美町

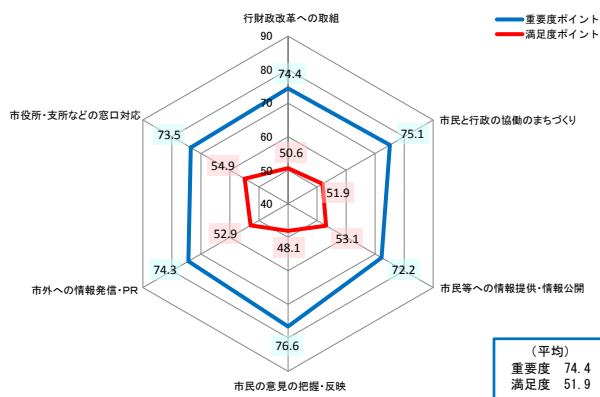
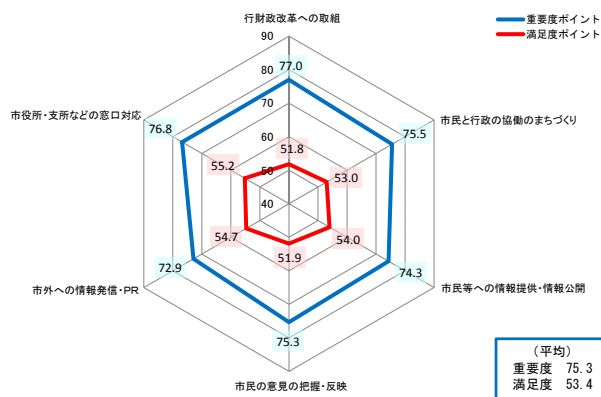


図 大柿町



(4) 部門別の重要度ポイント、満足度ポイントによる散布図

重要度ポイントと満足度ポイントについて、市民による施策の評価を散布図（クロス分布）にしています。

全項目の平均値を境界とし、重要度、満足度ともに高いものが『A』、満足度が高く、重要度が低いものが『B』、重要度が高く満足度が低いものを『C』、重要度、満足度ともに低い物を『D』として分類しています。

重要度が高い項目は、市民生活に切実なものや、市民が重視しているものといえ、低い項目は、快適性など生活の+α的要素、関連する市民が限定的なものなどが考えられます。

満足度が高い項目では、施策・事業の継続・充実が、低い項目は、施策・事業の積極的な実施や啓発・PRのほか、再検討などが考えられます。

評価状況についてみると、重要度、満足度ともに高い『A』は、福祉・保健、安全・安心部門の多くが該当しているほか、教育・文化や生活・環境の一部項目にも該当します。これらに関連する項目は、市民生活に切実なものや、市民が重視しているものといえ、施策・事業の継続・充実を図ることが考えられます。

満足度が高く、重要度の低い『B』は、産業・観光部門を除く部門に該当する項目がみられます。これらに関連する項目は、快適性など生活の+α的要素、関連する市民が限定的なものと考えられ、満足度は高いため、今後も施策・事業の継続・充実及び啓発・PRを図ることが考えられます。

重要度が高く、満足度の低い『C』は、産業・観光、基盤部門に多くなっているほか、福祉・保健、安全・安心、地域部門の一部項目も該当しています。これらに関連する項目は、市民生活に切実なものや、市民が重視しているものである一方で、満足度は低いため、施策・事業の積極的な実施や啓発・PRを図っていくことが考えられます。

重要度、満足度ともに低い『D』は、産業・観光、基盤、地域部門に該当する項目があり、特に農林水産業関連の項目の多くが該当しています。これらの項目は、関連する市民が限定的であることが考えられます。満足度についても低いため、施策・事業の再検討及び啓発・PRを図っていくことが考えられます。

昨年度の分類結果と比較すると、評価が『A』になった項目が4つで、重要度が高まったものが「学校施設の整備」、 「保健・健康づくりサービスの充実」、満足度が高まったものが「自然環境の保全」、 「地域防災活動への支援」となっています。

『B』になった項目は2つで、満足度が高まったものが「情報通信基盤の整備」、満足度が高まり重要度が低下したものが「地球温暖化対策」となっています。

『C』になった項目は1つで、重要度が高まった「定住促進策の推進」となっています。

『D』になった項目は3つで、重要度が低下したものが「水産業の後継者・担い手の育成」、満足度が低下したものが「水産業の生産基盤の整備」、 「都市との交流の促進」となっています。

第4 自由意見

アンケート調査の最後の問いである「3 その他（自由記入欄）」への記載について、記入件数は以下のようになります。

<記載状況>

有効回収調査票 718 票のうち、自由記入欄に記載のあった調査票は 303 票で、記載率は 42.2%となります。居住地別でみると、沖美町が 51.9%と相対的に高くなっています。

表 自由意見の記載状況

区 分	回収数	記載票 (票)	記載率 (%)
全 市	718	303	42.2
江田島町	284	116	40.8
能美町	158	66	41.8
沖美町	79	41	51.9
大柿町	192	76	39.6

<記載分類>

記載された内容は、1 調査票に複数の意見 (内容) がある場合があるため、それらを意見ごとに整理すると、全体で 457 件となります。

記載内容を分類すると、「基盤」が 85 件で最も多く、次いで「行政運営」が 73 件、「産業・観光」が 69 件、「福祉・保健」45 件などとなっています。

表 自由意見の記載分類

分 類	件 数
教育・文化	16
産業・観光	69
福祉・保健	45
生活・環境	28
安全・安心	13
基盤	85
地域	28
アンケート関連	16
広報・宣伝	10
行政サービス	20
行政運営	73
まちづくりの方向	23
現状への評価	21
その他意見等	10
合計	457